

第二十五回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十號

明治四十二年三月二十三日(火曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第二十號 明治四十二年三月二十三日

午前十時開議

- 第一 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第二 農工銀行法中改正法律案(議院送付案) 第一讀會
- 第三 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第四 明治四十年豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第五 明治四十年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第六 明治四十年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第七 明治四十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第八 明治四十年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第九 明治四十年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十 特許法改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 意匠法改正法律案(議院送付案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 商標法改正法律案(議院送付案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 實用新案法改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十四 産業組合法中改正法律案(議院送付案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十五 民事訴訟法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十六 商業會議所法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十七 行政裁判再審ニ關スル法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十八 新聞紙法案(衆議院提出案) 第一讀會

第十九 未成年者飲酒禁止法案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十 裁判所臺灣總督府法院統監府法院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十二 競馬法案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十三 韓國橫貫鐵道速成ニ關スル請願 會 議

第二十四 利根川水害豫防工事速成ニ關スル請願 會 議

第二十五 營業稅其ノ他稅制整理ニ關スル請願 會 議

第二十六 福岡郵便局ヲ一等局ト爲スノ請願 會 議

第二十七 甲府岩淵間鐵道速成ノ請願 會 議

第二十八 越羽沿海鐵道及陸羽橫斷鐵道速成ノ請願 會 議

第二十九 帝國軍人後援會國庫補助ノ請願 會 議

第三十 登記所設置ニ關スル請願 會 議

第三十一 鐵道速成ノ請願 會 議

第三十二 登記所設置ノ請願 會 議

第三十三 動物飼料鐵道運賃割引ニ關スル請願 會 議

第三十四 種畜ノ鐵道輸送ニ關スル特別取扱ノ請願 會 議

第三十五 輸入牛取締ノ請願 會 議

第三十六 牛疫豫防血清製造所設立ノ請願 會 議

第三十七 輸入家畜飼料取締ノ請願 會 議

第三十八 酒造稅法改正ニ關スル請願 會 議

第三十九 官營事業ニ對スル救済ノ請願 會 議

第四十 利根川及江戸川浚渫工事速成ノ請願 會 議

第四十一 煙草葉數査定廢止ノ請願 會 議

第四十二 郡域變更ノ請願 會 議

第四十三 渡良瀨川沿岸地方特別地價再修正ノ請願 會 議

第四十四 足尾銅山鑛毒被害地地價修正漏地價修正ノ請願 會 議

第四十五 區裁判所出張所設置ノ請願 會 議

- 第四十六 共同苗代設置規定廢止ニ關スル請願 會 議
第四十七 電話所設置ノ請願 會 議
第四十八 庄内川改修ニ關スル請願 會 議
第四十九 電話通話事務開始ノ請願 會 議
第五十 姫路城保存ノ請願 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

昨二十二日本院ニ於テ兩院協議會成案ヲ議決シタル衆議院提出砂糖消費稅法中改正法律案ハ即日裁可ヲ奏請シ又成案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ
同日本院ニ於テ修正議決シタル衆議院提出家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

輸出菓子糖果原料砂糖展稅法案特別委員會

委員長 伯爵柳澤 保惠君 副委員長 山本 達雄君

產業組合法中改正法律案特別委員會

委員長 男爵松平 正直君 副委員長 千坂 高雅君

用惡水井路敷置地買上ニ關スル法律案特別委員會

委員長 江木 千之君 副委員長 西村 亮吉君

貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 子爵裏松 良光君

競馬法案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 子爵曾我 祐準君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治四十年年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

明治四十年年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

明治四十年年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

明治四十年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

明治四十年年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

明治四十年年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

明治四十年年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

特許法改正法律案可決報告書

意匠法改正法律案可決報告書

商標法改正法律案可決報告書

實用新案法改正法律案可決報告書

產業組合法中改正法律案可決報告書

裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案可決報告書

辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案修正報告書

競馬法案否決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

新聞紙法案

衆議院議員選舉法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出立木ニ關スル法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出種痘法案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

醫師法中改正法律案

齒科醫師法中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇ヲ議決シタル國有林野ニ關スル請願及外十一件ノ請願ハ各意見書ヲ付シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、本日モ議案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、本日モ議案

ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

日本勸業銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第十五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ抵當ヲ徵セスシテ定期償還貸付又ハ年賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員勝田主計君演壇ニ登ル〕

○政府委員(勝田主計君) 唯今日程ニ上ボリマシタ勸業銀行法ノ改正案デアリマスルガ、是ハ曩ニ政府ガ提出ヲ致シテ居リマス耕地整理法ニ依リマシテ耕地整理組合ト云フモノヲ認メマシタノデ、其耕地整理組合ヲ認メマシタ結果、此法律ヲ改正ラスル、斯ウ云フ次第デゴザイマスカラ、ドウカ御協賛ヲ願ヒタウゴザイマス

〔男爵船越衛君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 船越男爵ハ何デスカ

○男爵船越衛君 本員ハ豫算第三分科ノ主査デゴザイマシテ唯今ヨリ分科會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 分科會ニ御退席ノ御要求デスカ

○男爵船越衛君 左様デス

○議長(公爵徳川家達君) 船越男爵ノ御要求通りニテ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、農工銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、議事日程第三、北海道拓殖銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

農工銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

第六條第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合ヨリ借用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ無抵當ニテ本條第一號、第二號ノ貸付ヲ爲スコト
第七條ノ二中「産業組合」ヲ「産業組合聯合會又ハ産業組合聯合會ニ加入セサル産業組合」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第八條第三項中「産業組合」ヲ「産業組合聯合會又ハ産業組合聯合會ニ加入セサル産業組合」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員勝田主計君演壇ニ登ル〕

○政府委員(勝田主計君) 農工銀行法ノ改正案ハ唯今申シマシタ耕地整理法ニ依リマシテ耕地整理組合ヲ認メマスルト云フコト、産業組合法中ノ改正案ガ出テ居リマスルガ、此改正案ニ依リマシテ産業組合聯合會ト云フモノヲ認メルコトニナツテ居リマスルノデ、其結果トシテ農工銀行法ノ改正ヲ要スル次第デゴザイマスルノデ、又此拓殖銀行法ノ改正ヲ要スル次第ハ、唯今述ベマシタ此産業組合法ニ依リマシテ産業組合聯合會ト云フモノヲ認メマシタ、其結果ニ依リマシテ是ガ改正ヲ必要トスル次第デゴザイマスルノデアリマスルカラ、ドウカ是ニモ御協賛ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、議事日程ノ第一ヨリ第三マデノ改正法律案ハ同一委員デ宜カラウカト考ヘマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四ヨリ第九マデハ委員長ノ報告ヲ煩ハス等デゴザイマスガ、委員長ハ唯今出席ガゴザイマセスカラ暫クアト回シニシタラ宜カラウカト考ヘマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、特許法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第十一、意匠法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第十二、商標法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第十三、實用新案法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

特許法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日

右特別委員副委員長

子爵 加納 久宜

貴族院議長公爵徳川家達殿

意匠法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日

右特別委員副委員長

子爵 加納 久宜

貴族院議長公爵徳川家達殿

商標法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日

右特別委員副委員長

子爵 加納 久宜

貴族院議長公爵徳川家達殿

實用新案法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日

右特別委員副委員長

子爵 加納 久宜

貴族院議長公爵徳川家達殿

○伯爵廣澤金次郎君 本員ガ委員長デアリマスルガ、昨日旅行イタシマシテ、議會ヘ向ケ電報ヲ以テ今朝ニ變更ノコトヲ發シマシタ、所ガ留守ニ委員會ヲ御開キニナツテ、モウ濟シダト云フコトデ、本員ハ委員長トシテハ電信ヲ以テ今朝ニ延期ノコトヲ出シテアリマスルデ、本員ハ遺憾ナガラ報告ヲ致スコトガ出来マセスノデ、副委員長ノ名前ヲ以テ通牒文ガ出テ居リマスカラ、ドウゾ副委員長ニ願ヒタイト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 副委員長ノ加納子爵ガ出席セラレテ居ルヤウデア
リマスカラ、加納子爵ノ登壇ヲ促シマス

〔子爵加納久宜君演壇ニ登ル〕

○子爵加納久宜君 唯今問題ニ上ボツテ居リマスル特許法改正法律案外三案
ノ委員會ノ經過ニ付キマシテ、委員長昨日缺席セラレマシタニ付イテ私ヨリ
御報告ヲ致スヤウニト云フ依頼デゴザイマシタノデ不束ナガラ私ガ代ッテ御
報告ヲ致シマス、此委員會ハ前後二回ニ及ビマシテ四案トモニ總テ全會一致
ヲ以テ可決イタシタノデゴザイマス、其經過ノ大要ヲ申上ゲマスルト、特許、
意匠、商標ノ三法律ハ明治三十二年ニ制定セラレマシタノデアリマシテ、實
用新案法ハ即チ三十八年ニ實施セラレタノデアリマス、然ルニ世ノ進運ニ伴
ヒマシテ、特許法外三案ノ現行法律中ニ不備ノ點ヲ補ハナケレバナラナイト
云フノ必要ヲ感ゼラレテ、茲ニ此改正案ヲ提出セラレタト云フノガ即チ本案
ノ大體ニ對スル政府ノ説明デアリマス、今其要點ヲ申述べマスルト、此四案
ニ關スル改正案中ノ主要ハ此特許ノ外、意匠、商標、實用新案等ノ件ニ付キ
マシテ、出願者ニ對スル、特許ヲ受ケタル者ニ對スル權利ノ未確定ナルモノ
ヲバ特ニ之ヲ明カニシテ權利ヲ安固ニシ及之ヲ明カニ定メラレタイト云フノ
ガ一ツノ重モナル條件デアリマス、第二ハ各案ニ付キマシテノ登録料金ハ是
マデソレト定メラレタモノヲバ、特ニ本案ニ對シテハ總テ實用新案ヲ除ク
ノ外ハ輕減セラレタト云フノガ、尙ホ重モナル要件ノ一ツデアリマス、是マ
デハ特許ヲ受ケタル者其他ノ三案ニ付イテ審判ヲナス場合ハ二階級ニ過ギナ
カッタノデゴザイマス、即チ事實ノ審判、ソレカラ上訴、此二ツデアリマシタノ
ヲ、更ニ抗告審判ト云フ一階級ヲ設ケテ、サウシテ事實ノ審理ヲ爲シ、併セテ
權利ヲ尊重ヲスル、是ガ一ツノ重モナル要點デアリマス、又從來手續ニ付キマ
シテハ頗ル錯雜イタシテ居リマシタ箇條モ少ナクナイノデ、出願者ヲシテ多
少容易ナラザル手續ノ爲ニ痛苦ヲ感ゼシムルト云フヤウナコトノアリマシタ
ノヲバ、本案ニ於キマシテハ之ヲ最モ明確ニシ又簡易ニシテ、努メテ此手續ヲ
輕ルニ於テ容易ナラシムル、是等ガ又本案ニ於ケル一ノ改正ノ要點デアリマ
ス、又意匠ニ付キマシテハ祕密意匠ノ制ヲ設ケテ、サウシテ意匠發明者ニ便宜
ヲ與ヘル、是モ一ノ要點デアリマス、又商標ニ對シマシテハ其使用シ居ル所ノ
モノニ付イテ明カニ之ヲ規定シテ不明確ナル點ヲ省イタ、是亦本案ニ對スル
一ノ要點デアリマス、又無效審判ノ請求權者ノ範圍ヲバ限定シテ、サウシテ此

請求權者ヲシテ努メテ其權利ノ確保ヲ期セシムル、是モ一ノ要點デアリマス、
以上申上ゲタ所ガ此特許法外三案ニ對スル改正ノ要點ト御承知ヲ願ヒタイ、
本案ノ審議ニ當リマシテ農商務大臣ハ特ニ出席セラレマシテ、本案ノ如キ
多數ノ條項ノアル法律ナルニモ拘ラズ、此會期ノ切迫セル場合ニ於テ之ヲ提
出シタノハ甚ダ遺憾ニ思フコトデアアル、併シ此法律案ハ總テ一日モ忽セニ
ベカラザル急要ヲ感ゼテ居ルノデアアル、成ルベク可決セラレムコトヲ希望ス
ルト云フ意思ヲ述べラレマシテゴザイマス、引續イテ政府委員ガ各法律案ノ
改正ノ點ニ付キマシテ其重モナル箇條ニ付イテノ説明ヲ與ヘラレ、又尙ホ衆
議院ノ修正ノ通りデ異議ナキ趣モ述べラレマシテゴザイマス、委員諸君カラ
ハ此各條ノ條項中ニ於テ多少質問モアリマシタガ、次イデ更ニ審議ニ移リマ
シタ所ガ、本案各條項ノ中ニハ稍遺憾ヲ感ズル點モ無イデハナイガ、大體上
カラ之ヲ達觀シテ見ルト、確ニ世運ニ適合シタ改正デアルト云フコトヲ認メ
マシテ、速ニ之ガ實施ヲ望ムト云フコトノ切ナル所カラ、四案共ニ全部衆議
院ノ修正通り可決シタイト云フノ動議ガ成立チマシテ即チ全會一致ヲ以テ本
案ハ可決ニナリマシタ次第デゴザイマス、デ以上ハ特許法外三案ヲ取束ネマ
シタル改正案ノ要點デアリマシテ、此會期ノ切迫ニ當リマシテ逐條審議ト云
フ場合ニ立至リマセヌ次第デゴザイマシタケレドモ、以上申上ゲタ所ノ大體
ノ點ニ付キマシテハ總テ適當ナル改正案デアルト云フコトヲ特別委員會ニ於
テハ認メマシテ可決イタシタ次第デアリマス、尙ホ詳細ナル點ニ付イテハ政
府委員ヨリ御質問ニ對シテ御説明セラル、デアリマセウガ、大體ニ對シマシ
テ右改正ノ要點ヲ御報告イタシマシタ次第デゴザイマス、幸ニ本案ハ大體ノ
改正ノ要點ヲ認メラレマシテ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵會我祐準君 質問ガアリマス、此案ノ委員ハ委員長ノ意ニ反シテ委員
會ヲ開カレタヤウニ思ヒマスガ事實ハ如何デゴザイマスカ、是ハ先例モ勿論
ゴザイマスガ、委員長ヲ委員諸君ガ御選ビニナッタナラバ、其委員長ノ定メル
所ノ時日ノ時間ニ於テ御開キナサルガ頗ル相當ナコトデゴザイマスガ、委員
諸君ガ選ンダ委員長ノ示サナイ刻限ニ御開キナサッタト云フコトハ如何ナコ
トデゴザイマスカ、斯クシテモ之ヲ正當ナ報告ト認メラレマスカ、御意見ヲ
伺ヒタウゴザイマス

○子爵加納久宜君 本案ニ付キマシテ昨日開會ノコトヲ定メラレテアリマシ
タノデ、委員長カラノ御示シモゴザイマスルデ、特別委員諸君ハ委員室ニ會

同ノ上、其旨ノ御報告ヲ致シマシタ所ガ、是ハ別ニ副委員長ニ對シテ依頼ト云フコトハ無イケレドモ、併ナガラ貴族院規則ノ第三十五條六條等ニ照ラセバ差支ノナイコトデアラウト云フノデ總テ御異議ガゴザイマセヌノデ開會ヲスルト云フコトニ定メラレ、從ツテ不肖私ガ委員長ニ代ッテ其席ヲ保チマシタ次第デゴザイマス

○子爵會我祐準君 三十五條六條ハ何デゴザイマス、承リタウゴザイマス

○子爵加納久宜君 三十五條六條ハ常任委員ノ點ニ付キマシテ、第五十條デアリマシタカ特別委員ニ於ケル規則ノ末ニ三十五條六條ヲ適用スルノ箇條ニ照ラシテ決定ニナリマシタ次第デゴザイマス

○子爵會我祐準君 三十五條六條ハ何デゴザイマス、五十條ニハ常任委員ノ規則ヲ特別委員ニ適用スルト云フコトハ命令シテアリマスカ、三十五條六條ハ何デゴザイマス

○子爵加納久宜君 ソレハ委員長ガ差支ガアルトキハ副委員長ガ之ニ代ル、斯様ナコトニ規定セラレテ居リマスカデゴザイマス

○子爵會我祐準君 委員長ハ差支ナイデヤアリマセスカ、今日ノ何時ニ開クト言ハレタラ明カニ差支ナイデヤアリマセスカ、若シ是ガ政府ガ緊急事件トシテ要求サレタナラバ別デアルガ……

○子爵加納久宜君 別ニ緊急事件トシテ要求サレタノデハゴザイマセヌガ、兎ニ角差支ガアツテ他ニ行カレタノデ、又此會期モ斯ノ如ク切迫シテ居レバ是ニテ開會ヲ致シテモ差支ナイト云フ委員一般ノ決議デアリマシタノデ、即チ會議ヲ開イタ、斯様ナ次第デゴザイマスカ、此上ハ其效力ノ有無ハ然ルベク御判斷ヲ請フノ外アリマセヌ

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ本案ノ委員長トシテ一言申上ゲテ置キマスガ、本員ハ一日前開會後、チヨット旅行ヲ致シマシタ、昨日ノ朝歸ル積リデゴザイマシタガ、少シ午前中ニ歸京スルコトガ出来ナイ爲ニ、午前中ニ電信ヲ事務所ニ宛テマシテ、今日ハ午前歸京ガ出来マセヌ故ニ今日ノ委員會ハ明日午前十時カラ開會スルト云フ電報ヲ發シタノデアリマス、且又其後電話ノ便ガアリマシタカラ、電話ヲ以テ又其通り今日ノ委員會ハ明日午前十時ニ開會スルト云フコトニシタイ、二度目ニ電話ヲ以テ豫ネテ事務局ヘ通知シタノデアリマシテ、決シテ委員會ヲ延バシタト云フコトハ、之ヲ握潰ストカ總テ斯ノ如キ意味ハ無イノデ、善意ヲ以テ本員ハ出席ガ成ルベク出来ルヤウニシヤウ、

今朝午前十時カラ夕刻マデ掛ッテヤリタイ考デアリマシタ、是マデモ隨分委員長差支ノ時分ハ委員會ノ通知ヲシタニ拘ラズ延期シタコトハ度々アリマスニ依ッテ、本員ハ其例ニ倣ヒマシテ、實ハ昨日ノ委員會ハ今日ニ延期ノコトヲ事務局マデ申込デアルコトヲ、諸君ノ前ニ一言イタシテ置キタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發議ハ無イト認メマスカラ、採決ヲ致シマス、四案トモ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵加納久宜君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○平山成信君 賛成

○田中芳男君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、先ヅ議事日程第十、特許法改正法律案全部ヲ問題ニ供シマス、全部、副委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵加納久宜君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

〔「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 加納子爵ノ直チニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ賛成者ガアツタト認メマス、故ニ決ヲ採リマス、直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議通りデ御

異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 意匠法改正法律案第二讀會、全部ヲ問題ニ供シマス、全部副委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ヲ終リマシタ

○子爵加納久宜君 引續イテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス、特許法改正案ト皆何レモ是ハ聯帶イタシテ居リマスカラ、成ルベク讀會ハ省略セラレマシテ可決決定セラレムコトヲ希望シマス、此他ノ二案トモ左様ノ手續ニ

○議長(公爵徳川家達君) 加納子爵ニ申上ゲマス、ドウモソレハ時機ヲ誤ッテ居ルト考ヘマス、ナゼナレバ四案トモ第二讀會ヲ開クベシトスル決ヲ採ッ

タノデアリマス、モウ讀會ノ順序ヲ經ルヨリ外、途ハ無イノデアリマス

○子爵加納久宜君 ア、左様デゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ハ第三讀會ヲ開クト云フ動議ヲ提出ニナッタノデアリマスカ

○子爵加納久宜君 左様デゴザイマス

○男爵西五辻文仲君 賛成

○平山成信君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 意匠法改正法律案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ノ通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ニ商標法改正法律案第二讀會、全部ヲ問題ニ供シマス、全部、副委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵加納久宜君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵西五辻文仲君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 實用新案法改正法律案第二讀會、全部ヲ問題ニ供シマス、全部、副委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵加納久宜君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵西五辻文仲君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議ノ通り、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 大木委員長ガ見エラレマシタカラ、議事日程第四、明治四十年豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、第五、明治四十年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、第六、明治四十年豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、第七、明治四十年特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、第八、明治四十年清國事件第二豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、第九、明治四十年清國派遣部隊豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、大木伯爵

一明治四十年豫備金支出ノ件

一明治四十年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治四十年特別會計豫備金支出ノ件

一明治四十年特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

一明治四十年清國事件第二豫備金支出ノ件

一明治四十年清國派遣部隊豫備費支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 大木 遠吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○伯爵大木遠吉君 明治四十年豫備金支出ノ件、其外五件ニ付イテノ御報告ヲ致シマス、本員ハ登院ガ甚ダ遅刻シマシテ申譯ガアリマセス、此コトハ謝罪ヲ致シマス、此豫備金支出、其外五件ニ對シマシテ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマスルガ、此件ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテハ鄭重ニ審議ラシテ悉ク當局ノ者ニ質問モ致シマシタガ、此支出ノ件ニ付キマシテハ別ニ不都合ト認メルモノモアリマセスデ、大體ハ豫備金支出及豫備金外ノ支出モ總テ殘ラズ承諾ヲ與フルコトニ致シマシタガ、唯希望トシテ委員會ニ於キマシテハ、此豫備金ガ合セマシテ三百万ホカナイ、固ヨリ豫備金ダケデハ足りナ

イト云フコトハ當初ヨリ分ッテ居ルノミナラズ、ドウシテモ剩餘金マデ支出スルノ傾向ニナルノハ是ハ分リ切ツタルコトデアル、抑、此三百万圓ノ豫備金ニシタト云フモノハ、ズット以前ノ仕來リデ、總テノ歳出六億以上ヲ以テ計算スル今日、僅ニ三百万圓ヲ以テ豫備金トシテ置クト云フコトハ到底始メヨリ支出ノ不可能デアルト云フコトハ明カナコトデ、從前ノ仕來リニ異動ヲセズニ置イテ、大體此剩餘金ノ支出ヲ以テ仕拂ヲ爲スト云フコトハ宜シクナイカラ、成ルベク豫備金モ出來得ル限リハ増加シテ、剩餘金ヲ支出スルト云フコトハ少ナクスルヤウナ方針ヲ立テ、吳レト云フ注文ヲ致シマシタ、其注文ニ對シテ當局ノ者ノ辯明ハアリマシタガ、要スルニ豫備金ヲ増加スルト云フコトハ總テ財政ノ根本カラ色々ノ差支ガアッテ今日マデ斯ウ云フ情態ニナツテ居ルガ、將來ハ成ルベク剩餘金ノ支出ハシナイヤウニシテ出來得ル限リハ豫算ニ計上スルコトハ固ヨリ豫備金モ増スト云フ方針デアアル、斯様ナ説明デアリマシタ、大體ニ於テ此豫備金支出外五件ニ對シマシテハ總テ異議ナク承認ヲ與ヘルト云フコトニ委員會デハ決シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四、産業組合法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、松平男爵

産業組合法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日

右特別委員長

男爵 松平 正直

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵松平正直君演壇ニ登ル〕

○男爵松平正直君 唯今問題トナツテ居リマスル産業組合法中改正法律案ノ委員會ノ決議ヲ御報道イタシマス、此案ハ昨日議事散會後、委員會ヲ開キマ

シテゴザイマス、所デ第一ニ政府委員ヨリ此改正ノ必要ノ趣旨ヲ説明ニナリマシテゴザイマス、デ此改正ノ必要ハ大別ニツニ分ケテ第一ハ……甲ハデス、甲ハ謂ハユル此改正ヲシテ其手續ヲ簡易ニシ、便利ヲ圖ルト云フ意味ヨリ修正ヲシタ、乙ハ此第九章ヲ一章設ケタ、此第九章ヲ一章此法案中ニ設ケタト云フ趣旨ハ、即チ此第九章ニアル通り産業組合聯合會及産業組合中央會ト云フモノヲ法律デ認メルト云フ爲ニ此第九章ヲ設ケタデアル、デ此産業組合聯合會ト云フモノハ如何ナルモノデアルカト云ヘバ、即チ茲ニ規定シテアル通り謂ハユル信用組合ノ聯合、販賣組合ノ聯合、購買組合ノ聯合、生産組合ノ聯合、例ヘバ丁度小ナル町村ヲ纏メテ郡又ハ縣ヲ成シタト云フ如キ有様ニ之ヲ連絡ヲ付ケルト云フ目的デアル、而シテ其中央會ハ何ノ爲ニ設ケルカト云ヘバ其連絡ヲシタ謂ハユル聯合會ナルモノヲ全國通ジテ、氣脈相通ジ、獎勵ノ途ヲ施シ圓滿ニ此産業組合ノ發展ヲ圖ルト云フノ目的デ、中央會ト云フモノ、必要ヲ感ジテ居ル、其中央會ヲ是デ規定シテ置クノデアル、斯ウ云フ趣旨デアルト云フ大略ノ説明デアリマシタ、而シテ其説明ガ濟ミマシテ段々質問ニナリマシタ、質問ハ或ル議員ヨリ多イ質問ガアリマシタ、一々申上ゲルト云フハ多端ニ涉リマスカラ、其要點ノ一二ヲ擧ゲテ申上ゲマスレバ、中央會ト云フモノハ成ルホド趣旨ハ分ツタガ、全國ニ一ツホカナイノデアルカ、或ハ謂ハユル第九章ノ信用組合、販賣組合ト云フ如キ此聯合組合、殊ニ中央組合ト云フノガアルガ、或ハ中央會ハ此聯合組合ヲ統一シテ居ルノデアルカト云フヤウナ質問デアリマシタ、數回ノ質問デアリマシタガ、詰リ歸スル所、全國デ一ツデアル、而シテ其一ツノ事務ハドウデアアルカト云フト、直接事業ニ當ルト云フハ中央會ノ責任デナイ、皆此聯合會デ直接ニ事業ヲスル、其事業ノ目的ヲ圓滿ニ獎勵發達ヲ圖ルト云フ法ヲ講ズルト云フコトデアアルカラ、其中央會ナルモノハ信用組合、販賣組合、又ハ生産組合、購買組合ト云フモノヲ纏メテ、中央會ニテ獎勵發展ヲ圖ルノデアルト云フ趣旨ニ分リマシタ、然ルニ尙又或ル委員ハソレデハ中央會ハ唯上ニ坐ハッテ居ルダケ事業ノ發展ヲ圖リ獎勵スルノニドウモ痒イ所ヘ手ノ届カヌヤウナモノデハナイカ、少シハ仕事ガアリサウナモノデアアル、第八十四條ノ第二項ニ「産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトヲ規定シテアルカラ自由ニ出來ルノデアラウ、如何デアアルカ、ト云フ質問デアリマシタ、政府委員ノ答ヘニ至極御尤モデアアル、併ナガラサウ云フ場合ニハ即チ此八十

二條ノ第三項ノ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得ルト云フノデ、實際圓滿ニ行ケルト云フ目的デアアル、斯ウ云フ答ヘデアリマシタ、右等ノ應答、ソレカラ第二ニハ此社團法人ト聯合會ガナリ、又中央會ガ社團法人トナル以上ハ其責任ハ有限デアアルカ無限デアアルカ、又ハ保證デアアルカト云フ問題ヲ……規定サレタコトニ付イテ質問ガゴザイマシタ、第七十七條ノ中央會ニハ無限責任ハナイ、保證又ハ有限責任デアアル、何故ニ中央會ニハ無限ノ責任ヲ與ヘナイカト云フヤウナ質問モアリマシタ、政府委員ノ答ヘルノニ、成ルホド御尤モデ、聯合會トナルト一縣又ハ數郡ニ涉ルモノデアアルカラ無限責任ト云フ必要ヲ餘リ見ナイ、依ッテ是ハ有限責任又ハ保證責任デ置クコトニシタト云フ説明デアリマシタ、ソレカラ又或ル委員ノ御尋ネニ中央聯合會……産業組合聯合會又ハ中央聯合會ノ監督ハ如何ナル順序ニ立ツカ、ドウ云フモノデアアルカ、或ハ又補助ト云フヤウナコトハドウ云フ方法ニナルカト云フ質問モアリマシタ、所ガ其監督ハ謂ハユル産業組合ヲ監督スル如ク各行政官ニ於テ各、其監督ヲスル、是ハ中央會ノ如ク主務大臣ノ認可ヲ受クル以上ハ自ら主務大臣ニ監督ノ責任ハアル等デアアル、補助ハ中央會ニ向ッテ補助スルノデアアルト云フ政府委員ノ答ヘデアアル、右等ノ質問説明ヲ重ネマシテ、而シテ質問終ッタ後ニ討論ニ移リマシタ、所ガ或ル委員ハ此産業組合ニ第九章ヲ増サレ、且ツ各條ニ於テ多少修正ガアッタノハ至極適當ト見ラレル、又少シハ望ム所モアルガ、其多少此上ニ望ミヲ屬スルト云フ爲ニ此改正ヲヤメルト云ッテハ却ッテ遺憾デアアル、兎ニ角此改正案ハ贊成ヲシテ可決セラレムコトヲ希望スルト云フ或ル委員ノ贊成ノ趣旨デアリマシタ、其他ノ委員モ凡ソ趣ヲ同クシテ皆可決スベシト云フ御意見ノヤウデアリマシタ、一人モ反對ノ意見アル者ナク、全會一致ヲ以テ可決シマシタ次第デゴザイマス、殊ニ其第二ニハ衆議院ノ修正案ノコトニ付イテ議シマシタ、此衆議院ノ修正案ハ別段意味ノ違ッタコトハナク却ッテ此第十五條ノ此所ニ細カイ字デ書イテゴザイマス「第一號及」ト云フ四字ヲ入レタノハ當業者ニ於テモ餘ホド便ニナル修正デ、却ッテ此修正案ガ宜イデアラウト云フ皆サンノ意見デ、是モ何ノ異議ナク一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デアリマス、ソレデ要シマスニ衆議院修正案ノ通り委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デアリマス、此段御報告ヲ致シマス

○伯爵大原重朝君 此案ハ委員長報告デ極ク明瞭ニ分リマシテゴザイマスカ

ラ、諸君モ御分リグラウ思ヒマス、讀會省略可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

○田中芳男君 賛成

○平山成信君 賛成

○子爵裏松貞光君 賛成

○千坂高雅君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十五、民事訴訟法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

民事訴訟法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

民事訴訟法中左ノ通改正ス

第四百四十八條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ事件ノ差戻ハ申立ニ因リ控訴裁判所ノ他ノ民事部ニ之ヲ爲スコ

トヲ得

事件ノ差戻又ハ移送ヲ受ケタル裁判所ハ新口頭辯論ニ基キ裁判ヲ爲スコトヲ要ス但前項ノ場合ニ於テハ破毀セラレタル判決ニ干與シタル判事ハ其裁判ニ參與スルコトヲ得ス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十六、商業會議所法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

商業會議所法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

商業會議所法中左ノ通改正ス

第三十三條中「經費又ハ」ヲ削ル

○橋本雄造君 政府委員ハ出テ居ラレマスカ

○議長(公爵德川家達君) 居ラレマス

○橋本雄造君 政府委員ニ質問イタシマスガ、此商業會議所法案ハ政府ハ同意デアルカ、不同意デアルカ伺ヒタイ、若シ不同意デアレバ宜シ、同意デアルト云フコトニナリマス、ソレニ付イテ御尋ネガアリマスカ、立ッタ序デニ申シテ置キマス、此商業會議所ハ商業界ノ唯一ノ機關デア、此案ガ通過イタス以上ハ必ズ自滅スル基ト思フ、今日自滅シタ曉ニハ歐米各國ノ話ニ日本ノ商業界ハ幼稚トカ或ハ信用ガ出來ナイト云フヤウナ話ヲ耳ニシテ居リマスガ、其邊ハ政府デハ善イ評ガ立ツト御考ヘデアリマス、惡ルイ評ガ立ツト御考ヘデアリマス、善イ評ガ立ツト云フ御考デアリマス、惡ルイ評ガ立ツト云フ御考デアリマス、惡ルイ評ガ立ツト云フモノデアリマス、善イ評ガ立ツト云フモノデアリマス、ドウ云フモノデアルカ、若シ不同意ナラバ宜シ、同意トスレバ其邊ノコトノ御説明ヲ願ヒマス

〔政府委員押川則吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(押川則吉君) 唯今御質問ノ商業會議所法改正ノコトニ付キマシテハ、是ハ今日ノ商業會議所ノ働キニ満足イタシテナイ、尙ホ之ヲ改善スル

ノ途ヲ取リタイト云フコトデゴザイマスニ付イテ、政府ハ此點ニ於テハ殆ド同様に感有ツテ居ルノデゴザイマスガ、ソレハ餘ホド考慮ヲ要スルコトデアルト思ヒマスノデ、政府ハ果シテ此改正ニ依ッテ其目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ更ニ商業會議所法全體ニ就イテ相當ノ考慮ヲ費ヤシタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十七、行政裁判再審ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

行政裁判再審ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

第一條 行政裁判所ノ裁判ニ對シ其ノ裁判執行ノ爲第三者ノ權利關係ヲ生シタルモノノ外ハ左ノ場合ニ於テ訴ニ因リ再審ヲ求ムルコトヲ得

一 裁判カ法律ニ違反シタルトキ
法則ヲ適用セス又ハ不當ニ適用シタルトキハ法律ニ違反シタルモノトス

二 裁判ノ憑據ト爲リタル證據カ偽造又ハ變造ニ係ルモノナルトキ
三 證人ノ陳述鑑定人ノ鑑定又ハ通事ノ通譯カ裁判ノ憑據ト爲リタル場合ニ於テ其ノ陳述鑑定又ハ通譯カ刑法第二編第二十章ノ罪ヲ構成スルトキ

第二條 裁判ハ左ノ場合ニ於テハ常ニ法律ニ違反シタルモノトス

一 規定ニ從ヒ裁判所ヲ構成セサルトキ

二 行政裁判法第十條ニ依リ評議及議決ニ加ハルコトヲ得サル評定官カ其ノ裁判ニ參與シタルトキ

三 不當ニ訴訟ノ受理ヲ拒否シタルトキ

四 訴訟手續ニ於テ原告若ハ被告カ法律ノ規定ニ從ヒ代理セラレサルトキ

五 規定ニ違反シテ對審判決ヲ公行セサリシトキ

六 裁判ニ理由ヲ付セサルトキ

七 裁判ノ事實又ハ理由カ裁判所ニ現ハレタル當事者ノ申立又ハ證據ト著シキ齟齬アルトキ

第三條 再審ノ理由カ單ニ法律ノ適用ノミニ關スルトキハ裁判所ハ其ノ法律ノ適用ニ付テノミ裁判ヲ爲スヘシ

第四條 裁判所ハ職權ヲ以テ再審ノ訴ニ付裁判アル迄前裁判ノ執行ヲ停止スヘシ

第五條 再審ノ訴ハ裁判書送達ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ

第一條第二號第三號及第二條第四號ノ場合ニ於テハ民事訴訟法第四百七十四條ノ規定ヲ準用ス

訴訟提起ノ里程猶豫及行政裁判法第二十二條第二項ニ關スル日限ニ付テハ同條並民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第六條 訴ノ提起及其ノ後ノ手續ニ付テハ本法ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外行政裁判法及民事訴訟法第四編再審ノ規定ヲ準用ス

第七條 前裁判ニ參與セル評定官ハ再審裁判ニ加ハルコトヲ得ス
附則

行政裁判法第十九條ハ之ヲ廢止ス

○馬屋原彰君 本員ハ少シ質問ガアリマス、政府委員ノ御答辯ヲ願ヒタイ、此本案ノ第一條ニ據リマス、既ニ裁判ヲ經タル遠キ事件ニマデ遡ッテ再審ヲ要求シ得ラル、如キ方針ヲ探ッテ居リマスガ、政府ハ此法案ニ對シテ同意サレテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ御尋子シテ置キマス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、政府ハ此案ニ對シテハ不同意デアリマス、併ナガラ或ル點マデハ贊成ヲ致シテ居ルノデ、即チ此再審ト云フコトニ對シマシテハ贊成ヲ致シマスガ、此中ニハ覆審モ籠ッテ居リマシテ、其點ダケハ不同意デアリマス

○馬屋原彰君 分リマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十八、新聞紙法案、衆議院提出、第一讀會

新聞紙法案

右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

新聞紙法

第一條 本法ニ於テ新聞紙ト稱スルハ一定ノ題號ヲ用キ時期ヲ定メ又ハ六箇月以内ノ期間ニ於テ時期ヲ定メシテ發行スル著作物及定時期以外ニ本著作物ト同一題號ヲ用キテ臨時發行スル著作物ヲ謂フ
同一題號ノ新聞紙ヲ他ノ地方ニ於テ發行スルトキハ各別種ノ新聞紙ト看做ス

第二條 左ニ掲クル者ハ新聞紙ノ發行人又ハ編輯人タルコトヲ得ス

一 本法ヲ施行スル帝國領土内ニ居住セサル者

二 陸海軍軍人ニシテ現役若ハ召集中ノ者

三 未成年者、禁治產者及準禁治產者

四 懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行中又ハ執行猶豫中ノ者

第三條 印刷所ハ本法ヲ施行スル帝國領土外ニ之ヲ設クルコトヲ得ス

第四條 新聞紙ノ發行人ハ左ノ事項ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ

一 題號

二 掲載事項ノ種類

三 時事ニ關スル事項ノ掲載ノ有無

四 發行ノ時期、若時期ヲ定メサルトキハ其ノ旨

五 第一回發行ノ年月日

六 發行所及印刷所

七 持主ノ氏名、若法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名

八 發行人、編輯人及印刷人ノ氏名年齢但シ編輯人二人以上アルトキハ其ノ主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ノ氏名年齢

前項ノ届出ハ持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル書面ヲ以テシ第一回

發行ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ差出スヘシ

第五條 前條第一項第一號乃至第三號ノ事項ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以

前ニ第四號若ハ第六號ノ事項又ハ持主、編輯人、印刷人ノ變更ハ變更前

又ハ變更後七日以内ニ前條ノ手續ニ依リ發行人ヨリ之ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ但シ持主變更ノ届出ニハ死亡ニ因ル場合ノ外新舊持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署ヲ要ス

第六條 死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル發行人ノ權利及義務ヲ承繼シタル發行人ハ其ノ發行人ト爲リタル日ヨリ七日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ノ外發行人ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 新聞紙ハ届出ヲ爲シタル發行時期又ハ發行休止ノ日ヨリ起算シテ百日間、三回發行ノ期間ヲ通シテ百日ヲ超ユル新聞紙ニ在リテハ三回發行ノ期間之ヲ發行セサルトキハ其ノ發行ヲ廢止シタルモノト看做ス

第八條 發行人若ハ編輯人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リ後任ノ發行人若ハ編輯人ヲ定メタル間又ハ發行人若ハ編輯人一箇月以上本法ヲ施行スル帝國領土外ニ旅行スル場合ニ於テハ假發行人若ハ假編輯人ヲ設クルニ非サレハ新聞紙ノ發行ヲ爲スコトヲ得ス

發行人及編輯人ニ關スル本法ノ規定ハ假發行人及假編輯人ニ之ヲ準用ス

第九條 編輯人ノ責任ニ關スル本法ノ規定ハ左ニ掲クル者ニ之ヲ準用ス

一 編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者

二 掲載ノ事項ニ署名シタル者

三 正誤書、辯駁書ノ事項ニ付テハ其ノ掲載ヲ請求シタル者

第十條 新聞紙ニハ發行人、編輯人、印刷人ノ氏名及發行所ヲ掲載スヘシ

第十一條 新聞紙ハ發行ト同時ニ内務省ニ二部、管轄地方官廳、地方裁判所檢察局及區裁判所檢察局ニ各一部ヲ納ムヘシ

第十二條 時事ニ關スル事項ヲ掲載スル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ保證トシテ左ノ金額ヲ納ムルニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

一 東京市、大阪市及其ノ市外三里以内ノ地ニ於テハ二千圓

二 人口七萬以上ノ市又ハ區及其ノ市又ハ區外一里以内ノ地ニ於テハ千圓

三 其ノ他ノ地方ニ於テハ五百圓

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニ在リテハ其ノ半額トス

保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十三條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行人變更ノ場合ニ於テ後任發行人之ヲ承繼スルモノトス

第十四條 保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレハ其ノ還附ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 保證金ヲ納ムル新聞紙ニ關シ發行人又ハ編輯人罰金又ハ刑事訴訟費用ノ言渡確定ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十六條 保證金ハ其ノ關額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スルニ非サレハ其ノ新聞紙ヲ發行スルコトヲ得ス但シ關額ヲ生シタル日ヨリ七日以内ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 新聞紙ニ掲載シタル事項ノ錯誤ニ付其ノ事項ニ關スル本人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書、辯駁書ノ掲載ヲ請求シタルトキハ其ノ請求ヲ受ケタル後次回又ハ第三回ノ發行ニ於テ正誤ヲ爲シ又ハ正誤書、辯駁書ノ全文ヲ掲載スヘシ

正誤、辯駁ハ原文ト同號ノ活字ヲ用ウヘシ

正誤、辯駁ノ趣旨法令ニ違反スルトキ又ハ請求者ノ氏名住所ヲ明記セサルトキハ之ヲ掲載スルコトヲ要セス

正誤書、辯駁書ノ字數原文ノ字數ヲ超過シタルトキハ其ノ超過ノ字數ニ付發行人ノ定メタル普通廣告料ト同一ノ料金ヲ要求スルコトヲ得

第十八條 官報又ハ他ノ新聞紙ヨリ抄録セシ事項ニシテ官報又ハ新聞紙ニ於テ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載シタルトキハ本人又ハ直接關係者ノ請求ナシト雖其ノ官報又ハ新聞紙ヲ得タル後前條ノ例ニ依リ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載スヘシ但シ料金ヲ要求スルコトヲ得ス

第十九條 新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審ノ内容其ノ他檢事ノ差止メタル搜查又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ掲載スルコトヲ得ス

第二十條 新聞紙ハ官署、公署又ハ法令ヲ以テ組織シタル議會ニ於テ公ニセサル文書又ハ公開セサル會議ノ議事ヲ許可ヲ受ケスシテ掲載スルコトヲ得ス請願書又ハ訴願書ニシテ公ニセラレサルモノ亦同シ

第二十一條 新聞紙ハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ事項ヲ掲載スルコトヲ得ス

第二十二條 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スヘキ場合ニ於テ之ヲ納メ若ハ之ヲ填補セスシテ發行シタルトキハ正當ノ届出ヲ爲シ又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スル迄管轄地方官廳ニ於テ新聞紙ノ發行ヲ差止ムヘシ

第二十三條 內務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ內務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載ヲ差止ムルコトヲ得

第二十四條 內務大臣ハ外國若ハ本法ヲ施行セサル帝國領土ニ於テ發行シタル新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ本法施行ノ地域内ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止シ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

新聞紙ニ對シ一年以内ニ二回以上前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ內務大臣ハ其ノ新聞紙ヲ本法施行ノ區域内ニ輸入又ハ移入スルヲ禁止スルコトヲ得

第二十五條 前條第二項ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シテ輸入又ハ移入シタル新聞紙及第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シテ發賣又ハ頒布スルノ目的ヲ以テ印刷シタル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

第二十六條 本法ニ依リ差押ヘタル新聞紙ニシテ二年以上其ノ差押ヲ解除セラレサルトキハ差押ヲ執行シタル行政官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十七條 陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第二十八條 第二條ニ該當スル者ニシテ事實ヲ詐リ發行人又ハ編輯人ト爲リタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第三條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ第四條第一項第一號、第四號乃至第六號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シ又ハ第十一條ニ違反シタルトキハ發行人ヲ百圓以下

ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十一條 第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シタルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 第八條第一項ニ違反シタルトキハ發行人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テハ實際發行ヲ爲シタル者、其ノ他ノ場合ニ於テハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十三條 第十條ニ違反シ又ハ掲載ニ實ヲ以テセサルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十四條 第十二條第一項、第二項、第十六條ニ違反シ又ハ第二十二條ニ依ル差止ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十七條第一項、第二項又ハ第十八條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十六條 第十九條 第二十條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 第二十一條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ三月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第二十三條ニ依ル禁止若バ差止ノ命令、第二十四條ニ依ル禁止ノ命令、第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ其ノ新聞紙ヲ發賣又ハ頒布シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十三條第一項、第二十四條第一項、第二十五條ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 第二十七條ニ依ル禁止又ハ制限ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スル事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスルノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下

ノ禁錮及三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第四十條乃至第四十二條ニ依リ處罰スル場合ニ於テ裁判所ハ其ノ新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコトヲ得

第四十四條 本法ニ定メタル犯罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セス

第四十五條 新聞紙ニ掲載シタル事項ニ付名譽ニ對スル罪ノ公訴ヲ提起シタル場合ニ於テ其ノ私行ニ涉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ惡意ニ出テス專ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ヲ證明スルコトヲ許スコトヲ得若其ノ證明ノ確立ヲ得タルトキハ其ノ行爲ハ之ヲ罰セス公訴ニ關聯スル損害賠償ノ訴ニ對シテハ其義務ヲ免ル

附則

新聞紙條例ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ヨリ發行スル新聞紙ニシテ本法ノ規定ニ依リ保證金ニ闕額ヲ生スルニ至リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ三年間其ノ填補ヲ猶豫ス

第二十六條ノ規定ハ本法施行前ノ差押ニ係ル新聞紙ニ之ヲ準用ス

伯爵廣澤金次郎君 本案ニ對シテモ内務省政府委員カラ政府ノ御意見ヲ承テ置キタイト思ヒマス

〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕
○政府委員(有松英義君) 本案ニ付キマシテハ政府ハ強ヒテ反對ヲ致シマセヌノデ、左様御承知ヲ……

○伯爵廣澤金次郎君 今ノ御答辯ハ甚ダドウモ意外ニ感ジマス、御不同意デアルカ、御同意デアルカト云フコトヲ承リタイ

〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕
○政府委員(有松英義君) 即チ同意ヲ致シマス意味デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十九ニ移ル前ニ唯今マデニ御委託相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

日本勸業銀行法中改正法律案外二件特別委員

侯爵細川 護成君 小牧 昌業君 男爵小野 尊光君

男爵武井 守正君 男爵高崎 安彦君 男爵吉川 重吉君

富田 鐵之助君 細谷 巖太郎君 五十嵐 敬止君

民事訴訟法中改正法律案特別委員

子爵本莊 壽巨君 子爵黑田 和志君 子爵舟橋 遂賢君

男爵北大路 實信君 男爵伊丹 春雄君 奧山 政敬君

高木 豐三君 岩村 兼善君 森 廣三郎君

商業會議所法中改正法律案特別委員

男爵德川 厚君 男爵中島 久万吉君 大庭 長九郎君

久保 市三郎君 桑田 熊藏君 日 高 榮三郎君

下郷 傳平君 下村辰右衛門君 伊藤 長次郎君

行政裁判再審ニ關スル法律案特別委員

松岡 康毅君 子爵松平 親信君 子爵水野 直君

山脇 玄君 男爵本多 政以君 富井 政章君

穂積 八束君 菊池 武夫君 澤原 俊雄君

新聞紙法案特別委員

男爵園田 安賢君 男爵菊池 大麓君 男爵關 義 臣君

男爵波多野 敬直君 江木 千之君 男爵小早川 四郎君

千頭 清臣君 安樂 兼道君 絲原 武太郎君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十九、未成年者飲酒禁止法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、德川侯爵

未成年者飲酒禁止法案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十七日

右特別委員長

侯爵 德川 賴倫

〔侯爵德川賴倫君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵德川家達殿

○侯爵德川賴倫君 唯今議題ニナリマシタ未成年者飲酒禁止法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、此案ニ付キマシテノ委員ハ去ル二十七日ニ御委託ニナリマシテ、速ニ審議ヲ致ス筈デゴザイマシタガ、折悪シク其當時正副委員長竝ニ委員中ニモ他ニ急グベキ委員ヲ兼ネラレテ居リマシタ爲ニ遂ニ此委員會ヲ開キマスコトガ後レマシタ次第デゴザリマス、此委員會ハ去

ル十七日ニ開キマシテ種々質問ガ出マシタノデアリマス、其質問ノ二三ヲ申上ゲマスレバ、前期ノ議會ニ於テハ第一條ノ但書ニ「但シ祝典ノ場合ハ此限ニ在ラス」ト云フ條項ガアッタガ、當年ハ其條項ヲ取殘シテ無イノハドウ云フ理由デアルカ、又未成年者ノ飲酒ハ教育ノ方面ニ於テ之ヲ禁止スルコトガ出來ナイノデアルカ、又文部省ヨリハ是マデ此禁止ニ付イテ訓令若クハ省令等ヲ發シタモノデアルカ、又學校ト家庭トノ關係ハ當今ドウ云フ實況デアルカト云フ質問ガゴザイマシタ、其他質問モゴザイマシタガ、二三ヲ申上ゲマスレバ唯今申上ゲマシタ通りノコトデアリマス、之ニ依リマシテ内務省ノ政府委員ガ答ヘラレマスノニ、衆議院デ提出ノ當時ニハ昨年ト同様但書ガアッタノデアルケレドモ、提案者ノ説明ニ依ルト此「祝典ノ場合」云々ト云フ、其祝典ハ三々九度ノ婚禮、竝ニ其他祭禮等ノトキヲ意味シテ居ルト云フ答デアリマシタ、トコロガ委員會ニ於キマシテハサウ云フコトデアルト甚ダ範圍ガ廣クテ之ヲ定ムルニ困難デアル、又ソレガ爲ニ災ヲ醸ス憂モアルカラ、實際上左ホド必要ヲ認メナイカラ、之ヲ削除シタガ宜カラウト云フコトニナリマシテ、削除ニナツタト云フコトヲ承ツタノデゴザイマス、シテ見マスルト、當年ノ案ハ非常ニ範圍ガ狭クナリマシテ、祝典竝ニ疾病等ノ爲ニ飲酒ヲスルト云フコトモ法律ヲ犯スト云フ意味ニナリマシテ、其範圍ガ狭マツタノデゴザイマス、然ルニドウモ我國ニ於キマシテハ一般祝典ノ際ニハ必ズ酒ヲ用キルト云フ習慣ニナツテ居リマシテ唯今ノ如ク狭クナリマス随分實際上ニ不都合ヲ生ズルコトガ必ズ多クナリマシテ、例ヘバ親ガ子供ノ疾病ノ爲ニ藥用シテ酒ヲ與ヘヤウトシマシテモ、法律ニ依ルト與ヘルコトガ出來ヌ、併ナガラ病氣ノ爲ニ酒ヲ與ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトガ随分アルコトデアルカラ、之ヲ狭クスルト云フコトハ随分困難デアル、又本案ノ如キ法律ニシテ完全ニ實行ヲ告グルト云フコトナラバ、誠ニ結構ナコトデアッテ、政府モ進ンデ之ニ賛成ヲ表スベキコトデアルケレドモ、之ヲ實際ニ取締ルト云フコトニ付イテハ實ニ困難ガ多クシテ、此以前通過ヲ致シタル喫煙禁止法案ノ如キモノデスラ、容易ニ取締ヲ完全ニスルコトハ出來ナイノデアル、況シテ此飲酒ノ禁止ニ付イテハ随分困難ヲ生ズル場合ガ多クナル、加之此飲酒ハ喫煙禁止ト異リマシテ喫煙ノ方ハ屋外ニ於テ其所持ヲ取締ルコトガ左ホドムツカシクナイケレドモ酒ニ於テハ室内ニ於テ用キルコトデアルカラ餘ホドノ困難デ、若シモ此法律ガ通過イタシテ取締ヲ完全ニスル場合ニハ、警察官ガ已ムヲ得ズ家庭内ニ這入り居室

ニ入ッテ之ヲ取締ラセムトスルヤウナ場合ガ生ズル、或ハ或ル會合ニ臨ンデ之ヲ取締ラシナケレバナラヌト云フヤウニ隨分ナルト云フ虞ガアルカラ、誠ニ是ハ居室ノ安靜ヲ害スルモノト認メテ政府ニ於テハ甚ダ條理ニ遠ザカルモノトシテ賛成ヲ表スルコトガ出來ナイト云フ説明デゴザイマシタ、又其上ニ申サレマスニ、此案ニ依リマスニ未成年者ニ販賣シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處スルト云フ規定デアルカラ、先年ノ喫煙禁止ノ法案ニハ、自用ノトキニハドウ斯ウト云フ文字ガ加ヘテアルガ、此飲酒禁止法案ニ付イテハサウ云フ文字モ加ヘテナイノデ、其意思ガ自用デアルカ或ハ他ノ爲ニ用キルノデアルカト云フコトガ甚ダムツカシイノデアリマス、若シ酒ヲ求メル爲ニ未成年者ヲ使用シヤウト思フ場合ニハ此法律ニ依ルト使用スルコトハ出來ナクナッテ實際不便ヲ感ズルコトデアルト云フコトモ附加ヘテ言ウテ居ラレマシタノデアリマス、ソレ故ニ内務省政府委員ノ言ハレマスニハ、趣意ニ於テハ賛成スルケレドモ法律ヲ以テ取締ルト云フヨリハ寧ロ教育方面ニ依テ取締ル方ガ居室内ノ安靜ヲ侵スコトモナク、又提出サレタル精神モ貫徹スルデアラウト云フ次第デゴザイマス、文部省ノ政府委員ノ質問ニ對スル答ヘ竝ニ意見トサレマシタ大意ヲ申上ゲマスレバ、文部省ニ於キマシテハ未成年者飲酒禁止ニ付キマシテハ誠ニ結構ナコトデアルガ、事柄ガ實ニ明瞭ナコトデアアルカラ是マデ文部省ヨリハ格別訓令等ヲ發シテ居ラナイノデアアル、未成年者ノ喫煙飲酒ノ惡ルイコトハ恰モ未成年者ガ青樓ニ登ルノ惡シキト同様デアッテ、今更之ヲ訓令等ニ言フ必要ガ無ク、現ニ現今ニ於キマシテ各學校ニ於キマシテハ月ニ一回若クハ二回、學校ヨリ父兄等ヲ學校ニ集メマシテ學校ト家庭トノ融和ヲ十分圖ルヤウニシテ居ルノデアッテ、生徒ノ不品行ヲ防ギ又衛生上ノコトニ付イテ隨分注意シテ居ルト信ジテ居ルカラ、今日政府ニ於テハ殊更禁止ノ爲ニ訓令ヲ出ス必要ガ無イト考ヘテ居ル、併シ喫煙禁止法ノ發布當時、發布以前ニ於テ文部省ニ於テハ學生ガ社會ノ流行ニ感染ヲシテ隨分喫煙ヲシテ居ルノヲ認メルノデ、明治三十七年ニ特ニ此喫煙ニ對シテハ各學校ニ對シテ訓令ヲ發シタコトモアルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ學校ト家庭トノ關係ニ付キマシテ尙ホ言ハレマスニ、學校ト家庭トニ於テ學校ヨリ注意スルコトガ十分ニ家庭ニ於テ實行セラレヌト云フコトハ往々耳ニシテ居ル次第デアルケレドモ、現今ハ文部省ニ於テハ此點ニ於テ十分注意ヲシテ此實行ヲ成ルベク獎勵ヲシテ居ルノデアアルカラ、學校ト家庭トノ融和ハ十分將來ニハ行ハレルコト

、信ジテ居ル、且又教科書等總テ道德教育ヲ基礎ト致シテ居ルコトハ勅令若クハ其他ニ依ッテ十分ニ認メラレテ居ルユエ、喫煙又ハ飲酒ノ如キモ自然之ヲ制止スルコトヲ得ルト信ジテ居ル、併シ若シモ委員ノ多數ヨリ飲酒禁止ノコトニ付イテ訓令ヲ出ス方ガ宜イト云フコトデアアルナラバ文部省ハ強ヒテ之ニ反對ヲスルノデ無イカラ、其點ニ於テハ是カラ攻究ヲスル次第デアルト云フコトヲ文部省ノ政府委員ハ言ハレテ居リマシタ、斯ノ如ク種々ノ質問ガゴザイマシタノデ、討論ニ移リマシテ委員中ノ一人ヨリ賛成ヲ言ハレマシタ、其賛成ノ趣意ハ極ク簡單デゴザイマス、其大體ヲ申上ゲマスレバ、飲酒禁止ノ如キモノハ德育ノ感化ガ一般ニ普及シテ、飲酒ノ身體上、精神上ニ有害ナルコトヲ未成年者自身ハ固ヨリ、其父兄監督者、飲酒販賣者モ之ヲ注意スルコトニナレバ法律ヲ制定シ之ヲ取締ル必要ハ無イケレドモ實際ニ於テハ、ナカ／＼サウ云フ譯ニイカヌコトガ、他ノ事情カラ察シテモ必ズアルト思ハレル、ソレデ又社會ニ於テハ十分ニ教育ヲ受ケテ居ル者モ隨分澤山ニアルカラ、ソレ等ニ向ッテハ此法律ヲ實行スル方ガ必ズ未成年者ノ飲酒ヲ取締ルコトガ出來ルコトデアアル、又政府委員ノ言ハレルニハ是ガ取締ニ付イテハ禁煙ヨリハ一層困難デアルト言ハレテ居ルケレドモ、併シ善イ事ヲ行フ上ニハ困難ガ之ニ伴フモノデアアルカラ、其困難ガアルトシテモ是ガ實行ヲ望ムガ故ニ自分ハ之ヲ賛成スルト言ハレマシタ、反對論者ノ說ニ於キマシテハ本案ノ精神ハ誠ニ賛成ヲスル次第デアルケレドモ、法律ヲ以テ之ヲ取締ルト云フコトハ躊躇シナケレバナラヌ、且ツ文部省ノ政府委員ハ將來、學校ト家庭トノ融和ヲ圖ルコトヲ獎勵スルカラ、飲酒取締ニ付イテハ十分ニ效ヲ奏スルコト、信ズルト云フ言葉モアルカラ、本案ノ如キ法律ハ之ヲ發布セヌ方ガ最モ宜イコトデアアル、且ツ教育上、教員竝ニ家庭監督者ヲシテ未成年者飲酒ヲ取締ラサセル方ガ誠ニ穩カデアッテ、法律ヲ以テ若シモ之ヲ取締マルト云フ場合ニ於テハ實ニ惡結果ヲ生ズルコトハ疑ヒモ無イ次第デアアル、例ハバ地方ノ片田舎ニ於キマシテハ諸君モ御承知ノ通りニ警官ノ駐在所ヲ設ケテアッテ、コレニ巡查ガ二名若クハ一名ヅツ、コレニ居ラセテ其地方ノ警察事務ヲ執ラシメテ居ル、村民モ其警官ヲ信ジテ、警察事務ヲ援助シテ居ル次第デアルケレドモ、一朝此未成年者飲酒禁止ヲ法律ヲ以テ之ヲ取締マルト云フ次第ニナッテ來レバ誠ニ困難ナコトデアッテ、村民中ニ此法律ヲ犯シテ警官ノ爲ニ檢舉セラレル場合ガ無イトモ限ラヌ、斯ノ如キ場合ニ於テハ是マデ村民ト警官トノ間ニ融和ガ付イ

テ居タノガ此法律ノ爲ニ圓滿ヲ缺イテ終ニ村民ト警官トノ間ニ不快ノ感情ヲ起シテ、遂ニハ他ノ警察事務マデモ滯滞スルト云フ虞レガ必ズアラウト思ハレル、ソレ故ニ本案ノ趣意ニ於テハ教育ノ方面ヨリ取締マル方ガ最モ宜イ次第デアル、且ツ文部省ニ於テモ既ニ喫煙ノ禁止ニ付イテ訓令ヲ各學校ニ出シタ前例ガアルカラ飲酒ノ禁止ニ付イテモ同ジク訓諭等ヲ各學校ニ出シテ是ガ取締ヲシタナラバ法律ヲ以テスルヨリモ其結果ハ却ッテ優ル效果ヲ得ルノデアル、斯ノ如キ賛成ノ……イヤツイ間違ヘマシタ、サウ云フ次第デアルノデ文部省ガ前ニ言ハレル通り訓令モ出スト云フコトニ考ヘラレル、反對説トシテハ此案ノ趣意ハ最モ重シクモベキモノデアルケレドモ法律ヲ以テ之ヲ取締ルト云フコトハ必ズ宜シクナイト云フ反對ノ説デゴザイマシタ、採決ノ場合ニ於キマシテハ之ニ賛成ヲ致サレマシタ方ガ一人デ、他ハ皆反對ヲサレタノデゴザイマス、斯様ナ次第デ遂ニ本案ハ否決ニナリマシタ、併シ其否決ノ理由ハ精神ニ於テハ十分ニ賛成ヲスルケレドモ之ヲ法律ヲ以テ取締ヲスルト云フコトニ反對スルト云フ否決デゴザイマス、終リニ臨ミマシテ一言申上ゲマスガ、

本案ハ前ニ申シマスル通り趣意ニ於テハ十分ニ全委員ガ賛成ヲセラレマシタガ、唯法律ヲ以テ取締マルト云フコトニ對シテ否決サレタ次第デゴザイマス、併ナガラ提案者ノ御希望ノ如ク之ヲ法律ヲ以テスルト云フコトハ否決ニナリマシテ、熱心ナル提案者ノ御方ニ對シマシテハ委員一同モ甚タ御氣ノ毒ト存ジマス次第デゴザイマス、併ナガラ文部省ニ於テモ此案ノ趣意ハ十分ニ了解セラレテ居リマスカラ、將來ニ於テハ必ズ提案者ノ御精神モ貫徹シテ自然飲酒禁止ノコトガ行ハレマセウト本員モ信ジテ居リマスルカラ一言此事ヲ申添ヘテ置キマス

○伯爵柳原義光君 本員ハ此案ニ付イテ政府委員ニ質問ヲシテ見タイコトガゴザイマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵柳原義光君 此案ハ精神ニ於テハ無論私ドモ、賛成デアリマスガ、併ナガラ斯ノ如キモノハ法律ノ力ニ依ッテセズ徳義ノ制裁ニ任スベキモノデアルト云フコトヲ確ク信ジテ疑ハヌノデアリマス、既ニ此案ニ酷ク似タ法律ガ實行サレテ居リマス、即チ禁煙法、未成年ガ煙草ヲ飲ムコトヲ禁ズルト云フ法律ガ實施ニナッテ居リマスガ、其取締ノ程度ガドノ邊マデ行ッテ居ルカト云フコトヲ承ッテ見タラ、此案ニ對シテ可否ノ判斷ヲ下ダスノニモ大ニ參考ニナラ

ウト思ヒマス、ソレデ未成年者禁煙法ハドノ位ニ行ハレテ居ルカ、又何所ガ一番取締ガ能ク届イテ居リマスカ、其邊ヲ一應伺ヒマス、ト云フモノハ其内容ガ餘ホド能ク似タモノデ殆ド關聯シタモノト云ッテモ宜イモノデアリマスカラ實行上ノ有様ヲ承ッテ見タラ此案ノ賛否ヲ決スル上ニ非常ニ利益ヲ得ルコト、思ヒマスカラ、一應御説明ヲ願ヒタイト考ヘマス

〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕

○政府委員有松英義君 唯今ノ御質問ニ對シマシテ……喫煙禁止ノ取締ノ效果ヲ御答ヘスルヤウニト云フ御要求デゴザイマスルガ、喫煙禁止法ノ取締ニ付キマシテモ實際頗ル困難ヲ感ジテ居リマスル、併ナガラ委員長ヨリ委シク御説明ニナリマシタル通り喫煙ノ場合ニ於キマシテハ屋外ニ於テ警察官ガ之ヲ認め得ル場合ガゴザイマスルニ依ッテ、幾分ノ取締ハ附イテ居リマスル積リデゴザイマス、今回ノ法案ト實行上難易ノ差ガ餘程ゴザイマセウト存ジマス、其數字ニ對シマシテハ唯今調査イタシタ材料ヲ此席ニ携ヘテ居リマセヌ

○田中芳男君 本員モ政府委員ノ御意見ヲチヨット伺ヒタウ存ジマスガ、唯今委員長カラ委シク御説明ガゴザイマシタカラ最早遺憾ハアリマセヌガ、併シ此案ハ委員長ノ御希望通り否決ニナリマスレバ宜シウゴザイマスガ、若シモ可決サレマシタトキハ此第二條ニアリマス所ノ「酒類」ト云フ字ヲドウ解釋シテ宜シイカト云フコトガ私ニハ分リマセヌ、是等ニ付イテハ定メテ御研究ニナッテ居ルカト思ヒマスガ、此酒類ト云フコトヲ唯字デ見マスレバ酒ノ字ガ附クモノハ皆酒ノ部類デ、「アルコホール」ト云フモノハ酒ト云フ字ガ附イテ居ラスカラ酒ト解釋シナイコトニナリハシナイカト思フ、又甘酒ト云フモノハ「アルコホール」ハ含マナイケレドモ、酒ト云フ字ガ附イテ居ル、其邊ノ所ガチヨット分リマセヌガ、否決ニナリマスレバ其邊ハ御尋ネスルニハ及ビマセヌガ、ドウナルカ分リマセヌカラ、チヨット御尋ネ致シマス

〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕

○政府委員(有松英義君) 唯今御尋ネノ點ニ付キマシテハ未ダ提案者ノ説明ヲ承ッテ居リマセヌ、政府ハ當初ヨリ此案ニ反對ヲ致シテ居リマスルカラ、從ッテ酒類ノ明細ナル區分種類等ニ付キマシテハ強ヒテ提案者ノ説明ヲ求メズニ終リマシテゴザイマス、併ナガラ凡ソ「アルコホール」ノ成分ヲ含ンデ居リマスモノガ總テ包含スル趣意デアラウト解釋ヲ致シテ居リマス

○男爵石黒忠惠君 本員モ唯今田中君カラノ御尋ネデ……〔聴取シ難シ〕相濟

ミマセヌカラ一應申上ゲテ置キマスガ、此酒類ト申シマスルノハ唯今政府委員カラ述ベラレマシタヤウニ、酒精ヲ含ミマシタ飲料ト云フコトニ本員ハ解シテ居リマシタノデゴザイマス、甘酒ノ類ハ酒精ヲ含ミマセヌデゴザイマスカラ取除ケノ積リデアリマシテ、是ハ本員ガ本案ヲ解釋イタシマスル上ニ付イテ様々解釋ヲシテ居リマスカラ申上ゲマス、ソレカラ柳原伯爵カラ御尋ネ

ニナリマシタ喫煙ノ犯罪者ノコトデゴザイマス、昨年ハ此喫煙ノ犯罪者ノ數モ委員會デ段々政府委員カラ御報告ヲ伺ヒマシテゴザイマスガ、其砌ノ政府委員ハ當政府委員トハ違ッテ居ラレマシタガ、私ノ方デ記憶イタシテ居リマス

ルカト存ジマスルデ一應申上ゲテ置キマスガ、唯今材料ヲ持ッテ居リマセヌカラ詳細ナル數ハ覺エマセヌデゴザイマスガ、其砌ノ質問ニ對シマシテ出サレマシタ表ヲ見マシタ所ガ、或ル府縣デハ八百人ト云フ數デゴザイマシテ、或

ル府縣デハ四人ト云フ數デゴザイマシタト記憶イタシテ居リマス、其砌段々政府委員ニ是ハ如何ナルモノデアラウカ、或ル府縣ニ於テハ八百ト云フ數、或ル府縣ニ於テハ四人ト云フ數デアアルガ、斯ク犯罪ノ數ガ異ッテ居ルニ付イテ

ハ之ニ付イテ如何ナル原因デアアルカト云フコトヲ御致究ガアッタデアアルカト云フコトヲ御質問イタシマシタ、然ル所ガ此原因ハ致究シテ居ラヌ、唯、今犯罪人ノ數ノ取調ベタノヲ見セロト云フコト故ニ御見セ申スト、斯様ナル説明

デゴザイマシタ、ソレデ何デモタシカ四ト私ハ記憶イタシテ居リマスルガ、若シ記憶落チデモ四十ハ越エマセヌノデ、サウ致シマスルト八百ト四十ト云フヤウニ府縣ニ依ッテ違ヒマスルコトガゴザイマス、ソレハ昨年ノ記憶ヲ一應

申述ベマシテ柳原伯爵ノ御參考ニ供シマスルノデゴザイマス
○侯爵德川賴倫君 唯今柳原伯爵ノ御尋ネニ付イテ茲ニ書イタモノヲ持ッテ居リマスカラ若シ何ナラ申上ゲマセウカ

○伯爵柳原義光君 今ノ石黒男爵ノ御答辯デ大槪要領ヲ得マシタカラ、委員長ヲ御煩ハシ申シマセヌデモ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數
議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十、裁判所臺灣總督府法院統監府法

務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案、衆議院提出、第二十一、辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、關男爵

裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案
案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日
右特別委員副委員長
男爵 關 義 臣

貴族院議長公爵德川家達殿
辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案
右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日
右特別委員副委員長
男爵 關 義 臣

貴族院議長公爵德川家達殿
〔別冊〕
第一條 裁判所所屬辯護士ハ臺灣總督府法院ニ於テ、臺灣總督府法院所屬辯護士ハ裁判所ニ於テ各其ノ職務ヲ行フコトヲ得但シ臺灣總督府法院所屬辯護士ハ辯護士法ニ依リ辯護士タル資格ヲ有スルモノニ限ル

第二條 臺灣總督府法院所屬辯護士ニシテ辯護士法ニ依リ辯護士タル資格ヲ有スルモノノ在職年限ハ裁判所構成法第六十五條、第六十九條及第七十條ニ掲クル年限ニ之ヲ通算ス

第三條 臺灣總督府法院判官、臺灣總督府法院檢察官、統監府法務院評定官及統監府法務院檢察官ニシテ裁判所構成法ニ依リ判事檢事タル資格ヲ有スルモノノ在職年限ハ裁判所構成法第六十九條及第七十條ニ掲クル年限ニ之ヲ通算ス

〔男爵關義臣君演壇ニ登ル〕
○男爵關義臣君 唯今議題ニ上ボッテ居リマス此委員長ハ大田原子爵デアリ

〔小字ハ特別委員ノ修正〕

〔小字ハ特別委員ノ修正〕

マシタガ、是ハ所勞デ今日モ缺席ニナツテ居リマス、副委員長ノ私ヨリ代ッテ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此裁判所臺灣總督府法院云々判決ノ執行ニ關スル法律案、是ハ此大體ノ趣意ハ内地裁判所ノ言渡シタル判決ハ臺灣ニ於キマシテハ執行スルコトガ出來マセス、又臺灣法院ノ言渡シタル判決モ内地ニ於テ執行スルコトガ出來ナイノデアリマス、實際ニ於キマシテ不便ヲ感ズル所デアリマス、此法案ハ此不便ヲ感ズル缺點ヲ補フヲ以テ主ト致シタノデゴザイマス、本案ニ依ッテ見マスレバ内地裁判所ノ言渡シタル民事刑事ノ判決ハ之ヲ臺灣ニ執行スルコトヲ得ルヤウニシテアル、又臺灣法院ノ言渡シタル民事刑事ノ判決ハ内地ニ於キマシテモ執行スルコトヲ得ラル、譯デゴザイマス、然レドモ臺灣ニ於テハ其現況ニ鑑ミマシテ内地ト異ナル法則ヲ制定スベキ必要アルヲ以テ其法則中ニハ内地ノ法令ニ照ラシテ正當ノ法律行為ト認メ難キモノモ之ヲ是認セラレル場合ガ有ルノデ、此ノ如キ行為ニ基キマシタ請求ヲ……内地ニ於テ其執行ヲ許スコトニ致シマスレバ内地ノ公安ヲ害スル虞モアリマス、故ニ本案第一條ニ但書ヲ設ケマシテ民事ノ判決ニシテ執行地ノ法令ニ依リ許スベカラザル請求ニ係ルモノハ其執行ヲ許サヌコトニ制限シテアルノデアリマス、此執行地ノ法令ニ依リ許スベカラザル請求ト云フヤウナモノハ、或ハ格別ソシナニ餘計モ有リマスマイケレドモ、近年臺灣ノ彩票事件ナドニ付キマシテハ到底内地ニ於テ之ヲ執行スベカラザルモノデアリマス、サウ云フコトヲ、マア稱スルノデアリマス、又此第二條ノ刑事ノ判決ニ付キマシテモ臺灣ノ法規ニ於キマシテハ管刑ナドガアリマス、此管刑ハマア内地ニ於テ行ハレテ居ラヌノデアリマス、又此死刑ト云フモノモアリマス、此死刑ハ御承知ノ通り内地ニハ司法大臣ノ命令、臺灣ハ臺灣總督ノ命令デアリマス、是等ノコトハドウモ取除ケテ置カンナラヌカラ、但書ヲ置イタ所以デアリマス、本案ノ委員會ニ於キマシテハ、是ハ衆議院ノ提出デアリマスカラ、先ヅ政府ノ意見ハドウ云フモノカト尋ネマシタ、政府ハ昨年モ御承知ノ通り、之ニ同意シテ即チ帝國領内ニ於テ裁判ノ效力ニ關スル法律案ト云フモノガアリマス、ソレガ衆議院デ可決ニナツテ本院ヘ回ッテ來タ、本院デハ之ヲ議ニ上ボスルダケノ時間ガ無イ、終リニ切迫シマシテソレナリニナラレタト思ハレマス、ソコデ政府ハ昨年ハ矢張り衆議院デ同意セラレタノデアアル、ソコデ此度ノ此事件モ昨年ニ比スレバ幾ラカ良クナッタヤウナ氣味デモアルカラ、政府ハ同意シテモ差支ナイモノヂヤト云フコトデアリマシ

タ、ソコデ委員諸君ニ於キマシテモ格別質問スルヤウナ要ナ項デモアリマセスカラ、ソレ程ノ御質問モアリマセスデ、政府ガ同意シタモノデアリマスカラ昨日一回ノ委員會ヲ開イタノデゴザイマシテ、遂ニ滿場一致ヲ以テ此原案通り可決イタシタモノデアリマス、次イデ唯今議長ヨリ宣告ニナリマシタ辯護士云々在職年限ニ關スル法律案モ是亦併セテ御報告イタシマス、此現行ノ法規ヲ見マスルト内地ノ辯護士ハ臺灣ニ於テ職務ヲ行フコトガ出來ナイノデアリマス、又臺灣ノ辯護士ハ内地ノ裁判所ニ於テ職務ヲ行フコトモ出來ナイノデアアル、本案ノ第一條ハ此制限ヲ廢シテ内地ノ辯護士ガ臺灣ニ於テ職務ヲ行フコトヲ得ルヤウニシ、又臺灣ノ辯護士モ内地ニ於テ其職務ヲ行フコトヲ得ルヤウニ致ス、是ガ趣意デアリマス、又裁判所構成法ニ依リマス三年以上辯護士タル者ハ試験ヲ經ズシテ判事檢察事ニ任ゼラルコトヲ得ルトシテアリマスガ、此臺灣ノ辯護士ニシテ内地ノ辯護士タル資格ヲ有スル者ハ之ニ包含出來マセス、故ニ此制限ヲ廢シテ内地ニ於テ辯護士タル資格アル以上ハ、臺灣ノ辯護士ト雖モ判事檢察事ニ任ゼラル、コトヲ得ルコトニナサウト云フ趣意デアリマス、又既ニ判事檢察事ニ任ゼラレタ者ガ五年以上臺灣ノ辯護士タル者ハ控訴院判事トナルコトガ出來ル、又十年以上臺灣ノ辯護士タル者ハ大審院判事トナルコトガ出來ルト云フ趣意デアリマスガ、又第二條ニ依リマスルト現行法ニ於テハ臺灣總督府ノ判官檢察官又ハ總督府法務院評定官、檢察官ニシテ判事檢察事タルノ資格ヲ有スル者モ控訴院判事又ハ大審院判事タルノ年限ヲ經過スルト、コレトナルコトガ出來マセヌサウニアリマス、其制限ヲ廢シテ各在職年限ヲ通算スル法デアリマス、ソレデ構成法六十五條、六十九條、七十條ヲ引イテアル所以デアリマス、是モ政府ノ意見ヲ聽キマシタ所ガ、本案ノ第二條、三條ノ年限ノ通算ニ付キマシテ斯ノ如キ規定ガ成立ツモ敢テ異議ヲ唱ヘヌト云フヤウナ趣意デアリマシタガ、本案第一條ニ付イテハ同意スルコトガ出來ナイ、ト云フコトデアアル、ソレハ臺灣ノ辯護士ト云フ一般ノ名義デハアルケレドモ、其名義中ニ、謂ハユル此内地ニ於テ嚴格ナル辯護士トナルニハ試験ヲ經ンナラヌ規則ガアル、其辯護士タル規則ヲ經ズシテ、サウシテ臺灣デ辯護士ノ規則ニ依ッタ、内地ノ辯護士トハ大ニ違フコトガアリマスルカラ、ソノ大ニ違フト云フコトハ即チ此辯護士ノ試験規則ニ依ラヌ辯護士デアアル、ソレハドウクラキアルモノデゴザルカ調ベテ見マシテゴザイマスルガ、臺灣デ内地ノ辯護士ノ試験ヲ經テ相當ナ辯護士ノ資格ヲ有ッテ居

ル者ガ矢張り三十一名アリマス、此中ハ悉ク臺灣ニ住居シテ居ル者デハ無ク、内地ヨリ或ハ臺灣ニ暫時寄留スルトカ或ハ訴訟ニ付イテ出張スルトカ總テ臺灣ノ辯護士登録ニナツテ居リマス人デアリマスケレドモ、内地ヨリ通フ人モアル、臺灣ニ居ッテヤル人ハ又三十一名ホドアリマスガ、是ハ悉ク或ハ卒業生デ日本法律學校トカ、明治法律學校トカヲ、悉ク卒業イタシテ居ル、其中ニ判事トナツテヤッタ者ガ一人、或ハ裁判所書記デ一人、ソレヲ除イテ二十九人ホドアリマス、ソレハ皆臺灣デハ辯護士デアリマスガ、内地ニ歸ッタル辯護士ノ資格ハ無イ、其ノ所ハ政府ハ不同意ヲ唱ヘラレマスノデアッテ、今此辯護士ノ資格ヲ臺灣ニ於テ辯護士ノ中ノ……内地ノ試験ヲ經テ相當ノ辯護士ニナッタ者ハ宜イケレドモ、臺灣デケノ辯護士デ居ッタ者ガ、内地ノ辯護士ノ試験モ經ズシテ、サウシテ内地ノ辯護士ト同様ニナルト云フコトハ、甚ダ辯護士ノ試験規則ヲ傷ツケルヤウナコトニナル、又別ニ試験制度ヲ設クル必要ハ見ヌノデアル、故ニ第一條ニハ反對ノ意見デアリマシタ、第二條第三條ニ付キマシテハ、到底今ノ第一條ノ、此辯護士ノ今申上ゲマシタ資格ニ於テノ事ダケノコトデ、故ニ第二條第三條ニハ敢テ不同意ハ唱ヘラレヌ、ソコデ委員中デ之ニ取除ケテ但書ニ入レヤウト云フ論ガ出マシテ、多數ノ議論デ、之ニ即チ修正ニナリマシテ、但シ臺灣總督府法院所屬辯護士ハ辯護士法ニ依リ辯護士タル資格ヲ有スルモノニ限ルト斯ウ云フ但書ヲ入レルト云フ發案ガアリマシテ、政府モ是レナレバ同意ヲ表スルコト、ナリ、又委員諸君ノ中デモ一人ノ異議ナク同意ヲ表サレタノデアリマス、委員諸君ノ中ニ質問モ出マシテゴザイマス、意見モ出マシタガ、格別御報告申スコトハアリマセヌガ、其質問ノ主タルコトハ何デヤト申シマスレバ、此事務ヲ……一體職務ヲ行フ上ノ事務ノ事ニ付イテノコトデアッテ、人格ノ……辯護士ノ内地ノ相當ノ試験ヲ受ケタ者ニ限ラヌデモ、臺灣ニ年數ヲ經テ居ル矢張り辯護士デモ宜カラウデヤナイカト云フ質問モサレ、是ハ政府ガ同意ヲセラレヌ、發議者モ亦其邊ノ事ヲ悟ラレテ敢テ異議ヲ唱ヘヌコトデアリマス、要スル所、是モ一人ノ異議ナク滿場同意見ヲ以テ可決シタコトデゴザイマス、此法律案ハ二題トモ事ハ明瞭デアリ、簡單デアリマスカラ、讀會省略デ判決ニナルコトラ……可決アラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 チョット御尋ネヲ致シタウゴザイマス、唯今御説明ノ中ニ臺灣臺灣トアツテ、韓國ノ事ハアリマセヌガ、併シ大方韓國ト云フコトモ仰シ

ヤッタ御積リデアラウト思ヒマスカラ申シマセヌガ……

○男爵關義臣君 是ハ甚ダドウモ……臺灣ノモ、韓國ノモ、其意味デアリマス

○田中芳男君 ソレハ分ッテ居リマスガ、此法律案ノ名前ガ如何ニモ法性寺入道ノヤウニ二ツモ三ツモ續イタヤウデアリマスガ、是等ハ御研究ニナツタンデアリマスカ、此間平民論ガアツタガ、平民ノ二字グラキデナイ、是ハナカノ長イノデアリマスガ、モウチット簡單ニ書クコトハ出來ナイカ、私ハ素人デ分リマセヌガ、ソコヲノ所ハ御研究ニナツタノデアリマスカ

○男爵關義臣君 私ハ耳ガ遠イカラ、失敬デスガ、モウ一度……

○田中芳男君 先キニ申上ゲマシタガ、御説明ニ臺灣臺灣トアルケレドモ、韓國ノ方ハ或ハ御落シニナツタト思ヒマスガ、モウ一ツハ此二ツハ名ノ長イコトハ如何ニモ長イ、法性寺入道ガ二ツモ出タヤウニ、先般ノ平民論ノトキニ平民ト云フ二字ヲ書クスラ、ナカノ時間ヲ費ヤスト云フ御議論モアツタニ付イテハ隨分長イ、何トカシテ是ハ三字デモ五字デモ少ナクスルコトハ出來ナイカト、素人ハ考ヘマスルガ、其邊ハ御研究ハ無カッタカ、ドウデスカ

○男爵關義臣君 分リマシタガ、其事ハ一向委員諸君ノ中カラモ、ドナタカラモ御質問モ出マセヌシ、氣モ付キマセヌデシタ

○男爵田健治郎君 唯今、委員長カラ讀會省略ノ御請求ノ御發議ガアリマシタガ、此第二十ノ方ハ、無論修正ガアリマセヌカラ贊成デゴザイマス、第二十一ノ方ハ修正ガアルヤウデアリマスカラ、是ハ今ノ御發議ノ中ニ無イモノトシテ、第二十ノ方ノ讀會省略ニ贊成ヲ致シマス

○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ贊成

○子爵曾我祐準君 贊成

○南鄉茂光君 贊成

○男爵金子有卿君 贊成

○男爵本多副元君 贊成

○平山成信君 贊成

○馬屋原二郎君 贊成

○子爵平松時厚君 贊成

○子爵鍋島直彬君 贊成

○男爵武井守正君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 唯今マデ賛成ト仰セラレタ諸君ハ、無論兩案トモト議長ハ解シテ居リマスルガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 關男爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○男爵關義臣君 直チニ第二讀會ヲ……

○議長(公爵德川家達君) 關男爵ハ讀會省略ヲ、議長ハ御出シニナッタト考ヘマスルガ……

〔男爵關義臣君「唯今ノハ誤リマシタ」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 兩案トモ副委員長ノ報告通り御異議ハアリマセムカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十二、競馬法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、德川伯爵

競馬法案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 德川 達孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 此會期中ニ大分喧マシイ問題……大問題ト云フ程デモアリマセムガ、大分喧マシイ所ノ問題ニナツテ居リマス競馬法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道イタシマス、此委員會ハ此法案ニ付キマシテハ、昨日議事散會後ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、引續イテ委員會ヲ開キマシタ、慎重ニ審議ヲ致シマシタ、此法案ノ内容ハ今茲デ一々申サズトモ喧マシ

イ問題デゴザイマスカラシテ、諸君ハ既ニ御熟知デゴザイマセウ、併シ極ク大要ヲ申セバ、馬票ノ賣買發行ヲ許シテ貰ヒタイト云フコト、ソレニ刑法ノ賭事ニ關スルコトノ取除ケヲ設ケテ、サウシテ此競馬ヲ盛ンニ致シタイト云フ所ノ趣意ニ外ナラヌコトデアラウト存ジマス、委シイコトハナカクゴザイマスカ、ソレハ一々申サズトモ必要ハ無カラウト存ジマス、サテ委員會ニ於キマシテハ政府委員ノ出席モ請ヒ、且又國務大臣ノ出席モ仰ギマシタ、第一番ニ政府ニ於テ此法案ニ對スル所ノ所見ハ如何デアラウト云フコトヲ尋チマシタ、是ハ御承知ノ通り衆議院案デゴザイマスカラシテ、案ノ説明ヲ求ムル譯ニ行キマセムカラ、政府ノ所見態度ハ如何ト尋チマシタ、其答ヘハ斯ウ云フ答ヘデゴザイマシタ、ソレハ競馬會ガ設置セラレタ當時ニハ、馬券ト云フコトニ付イテハ默許ノ姿デアアル、然ルトコロ追々競馬ガ各所ニ起ツテ盛ンニナルニ付イテハ、馬券ト云フコトニ付イテ非常ナ弊害ガ起ル、ソレ故ニ斷然禁ジタ次第デアアル、ソレニ此法案ニ依ツテ見ルト云フト、名コソ馬票ト云フ文字ニ變ツテ居リマスカ、詰リ是マデノ馬券ト云フ譯デアアル、其馬券ヲ發行スルコトハ新刑法ノ實施サレヌ前デモ如何デアアルカト云フ疑ヒガアル、況ヤ現刑法ガ施行サレルニ付イテハ、大ニ矛盾スル點ガアルカラ、此法案ト云フモノハ同意スルコトハ出來ナイ、且又馬匹ノ改良策タル所ノ競馬ヲ盛ンニスルノニハ、何モ馬票發賣ト云フコトヲシナクツテモ行ク見込デアアル、其他マダ馬匹ノ改良ト云フコトハ種々ノ方法ヲ以テ行ク譯デアアル、故ニ政府ニ於テハ本案ニハ終始反對デアルト、斯ウ云フ答ヘデゴザイマシタ、ソレヨリ又委員ノ中ヨリ續々質問ガゴザイマシタ、其質問ノコトハ一々申スノヲ省キマス、ソレヨリ討論ニ移リマシタ、其反對ノ意見ノ大要ヲ申セバ、本案ハ競馬ヲ盛ンニスル爲ノ案デアアルガ、其目的トスル所ハ馬票ノ發行ヲ許シ、刑法ノ第二編第二十三章中ノ賭事ニ關スル規定ヲ取除ケタイ、斯ウ云フ意味デアアル、若シ此本案ヲシテ施行セシメタナラバ、競馬ヲ盛ンニスルコトデアツテ、馬匹ノ改良ト云フコトニ或ハナルカモ知レマセムガ、一方ニハ馬匹ノ改良ガ出來ルニシテモ、一方ニハ此賭博ト云フモノヲ公許スル姿ニナル、賭博ヲ公許ニナレバ、如何ニモ射倖心ヲ増シ、社會ノ風紀ヲ紊ス點モ多カラウト思フ、且又此競馬法ガ行ハレナクテモ、競馬ト云フモノハ出來ル、ソレ故ニ斯ノ如キ社會ノ風紀ヲ紊シ、射倖心ヲ増進シテ、兎角世ノ中ニハ大分道德地ヲ拂フト云フ歎キノ聲ヲ聞ク所ニ、又斯ノ如キ案ガ行ハレタナラバ、益、此社會ノ

道德心ヲ腐敗スルコトニナルダラウ、馬匹ノ改良ヨリハ人心ヲ腐敗スル方ガ多イ、ソレ故ニ斯ノ如キ案ハ否決スベキモノデアルト云フ論ガゴザイマシタ、委員會ニ於キマシテハ賛成論ハ一人モゴザイマセズ、其當時ノ出席者ハ委員長トモデ七名デアリマシタ、採決イタシマシタ所ガ其七名ノ内一人ハ御缺席デゴザイマシタカラシテ、其御方ハ果シテ賛成者デアルカ反對者デアアルカソレハ分リマセヌガ、兎ニ角殘ッタ委員ハ六人デアリマスガ採決イタシマシタ所、全會一致ヲ以テ否決ニナリマシタ次第デアリマス、即チ本案ハ否決スベキモノト決議ニナリマシタ次第デアリマス、此段ヲ御報告申上ゲマス、ドウゾ滿場諸君モ何卒委員會ニ於テノ議決ニ御同意アッテ、滿場一致ヲ以テ否決アラムコトヲ希望イタス次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 通告者ガゴザイマスカラ休憩イタシマス

午後零時八分休憩

午後一時七分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ登壇ヲ促シマス、加納子爵

〔伯爵吉井幸藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、加納子爵ニ發言ヲ許シマシタカラ暫ク御待チヲ願ヒマス

〔子爵加納久宜君演壇ニ登ル〕

○子爵加納久宜君 諸君、本問題ハ社會ノ非難攻撃ノ燒點ニナッテ居リマシテ、而カモ議場ノ大勢ハ既ニ定マッテ居ルノニ拘リマセズ大體ニ付イテ賛成ノ説ヲ述ベマスルノハ自ラ愚ニアラザレバ即チ狂デアルト云フコトヲ信ジテ居リマス、サリナガラ本員ノ經歷上、敢テ一言ヲ述ブルノ已ムヲ得ザル次第デアリマス、是ヨリ競馬ニ關スル原因結果ニ付イテ一言ヲ致シマセウト存ジマス、日本國民ニ馬事思想ガ乏シクアルノデス、乘馬飼養令ガ廢セラレマシテカラコノカタ、常人トシテ騎馬ノ姿ヲ見ルト云フコトハ殆ト落々晨星ノ如クデアリマス、今ヤ一般ニ生活ノ程度が高マッテ參リハ致シマシタケレドモ、其割合ニ馬匹ヲ飼育スル者ノ乏シイト云フモノハ、要スルニ乘馬ノ趣味ヲ感ズル者ノ少ナイカラデアラウト存ジマス、一般國民ヲシテ馬事思想ヲ啓發シ、快活ナル動作ヲ執ラシムルト云フニハ競馬ノ外他ニ手段ノ無イト云フコトハ世界

列國ノ事實ガ證據立テ、居ルデアリマス、既ニ普通ノ國民ニシテ馬ニ乗ル者ガ無イカラ產馬業者ガ軍馬購買ニ應ズル外ニハ乗用種ノ販路ニ全然其途ノ塞ガッテ居ルト云フコトハ順序トシテ爭フベカラザル事實デアリマス、故ニ當業者ニ取ッテ陸軍ノ軍馬ノ購買ハ無上ノ華主先ニ相違ハアリマセヌケレドモ、其購買ノ價格ガ平均百圓内外、將校ノ馬匹デモ二百圓内外ニ過ギヌデアリマセウ、由來產馬業者ノ資本デアアル所ノ種馬ノ善良ナルモノト否ザルトハ即チ其產出スル仔馬ノ賣却代價カラシテ利益ノ權衡ヲ割出シタモノデアリマスルカラ、高價ナル種馬ヲ飼ッテ其馬ノ子ヲ低價ニ賣ッテハ連モ營業ノ立行ク筈ハナイノデアリマス、今後軍馬ノ購買ノ價格ガ一頭ニ對シテ四百圓乃至五百圓ト云フヤウナ價格ニ上ボルベキ時期ガ來マシタナラバ、當業者ハ順序トシテ相當ノ種馬ヲ飼育シテ馬匹ノ改良ガ或ル程度マデハ進歩スルニ違ヒアリマセヌ、併ナガラ四五十年ノ遠キ未來ハイザ知ラズ、一頭ノ軍馬ニ四五百圓ノ高價ヲ仕拂フト云フコトハ目下ノ軍事經濟ニ於テ到底不可能ノコト、言ハナケレバナリマセヌ、然ルニ內國產馬ハ身ノ丈ケ低ク、力量ガ弱ク速力ノ鈍イト云フコトハ敢テ本員ガ事新シク言フマデモアリマセヌ、假ニ之ヲ改良スルノニ國家ノ力ヲ以テシマシタナラバ必シモ出來ナイト云フ限リデハナイト思ヒマス、併ナガラ年々之ガ爲ニ一千万圓乃至二千万圓ノ金ヲ國庫カラ支出スルト云フコトハ夢ニダモ見ルコトハ出來マセヌ、畢竟是等ハ言フベクシテ行ハレナイ論ト言ハナケレバナラヌ、サレバ斯ル大計畫ガ行ハレマセヌ上カラハ、各師團ノ大兵ヲ動カシテ出師準備ガ何時デモ差支ナイヤウニスルト云フノニ全國ノ馬匹ノ總頭數ガ僅ニ一百四十五万頭ノ中デモッテ軍用ニ堪フル馬匹ガ何十万頭アリマセウカ、論ヨリ證據三十七八年ノ戰役ニ方リマシテ內國產馬デ以テ間ニ合ハナカッタト云フコトハ今尙ホ諸君ノ御記憶ニ存スル所ダラウト思ヒマス、若シ一朝海外ニ事アルニ方リマシテ兵器ノ獨立ガ保テヌトアッタナラバ、諸君我々國民ハ安心シテ眠ルコトガ出來マセウカ、是レ本員ガ柄ニモナイ此競馬ノ創立者ヲ以テ自ラ任ジテ一片ノ寸丹、默シテ止ムコトガ出來ナカッタ所以デアリマス、然ルニ世人ハ本案ヲ以テ醜問題トナシタケレドモ、由來世界現世紀ノ競馬ハ或ル一部ノ方面カラ之ヲ窺ッテ見マスレバ、無論純潔無垢ノモノデアリマセヌ、當ニ純潔無垢ノモノニアラザルノミナラズ一種不潔ノ分子サヘモ含ンデ居ルニ相違ハアリマセヌ、サリナガ

ラ競馬ガ馬事思想ヲ啓發シ馬匹ノ改良ヲ爲スニ於テ唯一ノ手段デアルト云フコトハ、何人モ之ヲ識認スル所デアツテ、猶ホ肥料ノ植物ニ於ケルガゴトク、競馬テフ肥料ガナカッタナラバ、馬匹ノ產獲ノ饒カナルコトガ出來ナイト云フコトハ、又明白ナル道理デアリマセムカ、抑、競馬開催ノ爲ニ、否ナキ方法ノ一部ニ屬スル不潔分子ニ觸レテ家ヲ喪ヒ產ヲ破ル者モ出來ルデアリマセウ、社會ノ風紀ニ關スルヤウナ事實ガ偶然ナル出來事モ生ズルデアリマセウ、之ヲ潔癖者ノ眼孔ヲ以テ一々競馬場内ノ出來事ヲ見マシタナラバ、其弊害ト稱スル所ノ事實モ少ナクナイデアリマセウケレドモ、本員ガ一身ヲ非難ノ犧牲ニ供シテ、日本競馬ノ創立ニ努メマシタノハ、ソナナ小サイ問題ニ屈托シテ居ラレヌカラノコトゴザイマス、苟モ世界平和ノ戰ニ帝國ノ權利利益ヲ保全シテ其生存競争ニ打勝タムコトヲ希ヒマシタナラバ、平和ノ保障タル武備ノ充實ニ全力ヲ注ギ、馬匹ト云ヘル兵器ノ獨立ヲ完ウシテ、百万ノ貔貅ニ相當スル輸送機關ヲ満足シテ置クト云フノハ國家一日モ忽セニスベカラザルノ要求ガアルカラデアリマス、成ルホド競馬場ニ出入スル所ノ多人數ノ中カラハ競馬ゴロツキニ墮落スルヤウナ奴モ出來ルデアリマセウ、產ヲ破リ家ヲ喪ノト云フガ如キ親不孝行者モ生ズルデアリマセウ、ケレドモ謂ハユル少シキヲ忍バザレバ大謀ヲ亂ルデアツテ、一小局所内ニ起ル區々タル小事ハ涙ヲ揮ッテモ國家ノ犧牲ニ供セネバナラヌノデアリマセムカ、彼ノ五圓ノ勸業債券ガ五百圓ニ當籤シタリ、鼠一匹ガ百五十圓ノ奇利ヲ博シタリ、定期米ヤ株式ノ賣買ニ一攫千金ノ利ヲ射タリスルノヲバ社會ノ風教上カラ眞正面ニ論ジマシタナラバ、何レモ富籤類似ノ行爲ニモ該當スルデアリマセウ、又偶然ノ輸贏ニ金錢ヲ取引キスルト云フ刑法犯デアルト云フコトニ解釋ヲスルト云フコトモ出來ルデアリマセウ、然ルニ國家ハ之ヲ公許シ、社會モ亦見テ以テ當然トシテ怪シム所ノ無イノハ何ノ譯デアリマセウ、要スルニ社會ノ生存上ニ必要ナル機關デアルト云フコトヲ疑ハヌカラデアツテ、是等ノ小害惡ヲ犧牲ニスルモ亦實ニ已ムヲ得ヌノデアリマス、世ノ中ニハ競馬ヲ以テ馬匹改良ニ益ナキモノ、ヤウニ言フ人モアリマスケレドモ、成ルホド本員モ無肥料デ以テ植物ガ蕃殖スルト云フヤウナ名案ガアルナラバ喜ンデ之ニ服從スルノデアリマスケレドモ、歐米列國ノ競馬デモ之ニ伴フ弊害ノアルニモ拘ラズ、今尙ホ其現狀ヲ續ケテ居ルト云フモノハ、特ニ馬匹改良ニ名案ガ無イカラデアツテ、既ニ競馬ノ外ニ好キ手段ガ無イトシタナラバ、之ヲ國家的馬匹

改良ノ補助機關トシテ利用スルト云フヨリ外ニ策ガ無イノデアリマス、サテ競馬ガ始マリマシテカラ未ダ三年ニハ滿チマセヌケレドモ、第一、馬產地デハ販路ノ塞ガツテ居ッタ所ノ將校用以上ノ良馬ガ多數賣レ始メタト云フ事實ガ一ツ、第二ニハ全國產馬界ニ向ッテ活氣ヲ與ヘタト云フコトガ二ツ、第三ハ優良ナル種馬ヲ購入スル者ガ俄ニ増加シタト云フコトノ事實、第四ハ馬匹ノ飼育方法ガ改善シタト云フ事實、第五ハ競馬事業ノ一頓挫ニ依ッテ公私ノ牧場ヨリ產出スル所ノ馬匹ハ殆ド賣買ガナクナツテ仕舞ッタト云フノ事實、第六ハ牧畜業者ハ爲ニ非常ノ窮境ニ陥ッテ居ルト云フ事實ガ一ツ、是等ハ即チ競馬ノ一盛一衰ガ如何ニ偉大ナル影響ヲ地方產馬界ニ及ボシタルカラ證明スルコトガ出來ルト思ヒマス、論者ハ競馬用ノ馬匹ノ骨格ガ逞シクナイノヲ見テ、軍馬ノ改良トハ全ク關係ノ無イコトノヤウニ言ウテ居ル者モアリマスガ、是等ハ甚ダ取ルニ足ラナイ論ト言ハナケレバナラス、ソレハ競走ノ數月前カラ飼育ノ方法ト又運動的ノ調教トニ依リマシテ、殊ニ身體ヲ輕捷ナラシムルノ結果デアツテ、必シモ競馬ニ用ウル馬ガ骨格ノ甚ダ不完全ニシテ、又軍用ニ供スルコトノ出來ヌヤウナ馬ナルニハ非ズデアツテ、競馬ニ使用後三四箇月ヲ經過スレバ復タ以前ノ如ク肥大ニナツテ來ルト云フコトハ事實ニ於テ爭フベカラザル所デアリマス、又競馬其モノガ直チニ馬匹ノ改良ダト速テスルヤウナ誤解モアリマスケレドモ、決シテ競馬其モノガ直チニ馬匹ノ改良トナルト云フノデハナイ、即チ競馬ニ依ッテ能力完全ナル馬匹ノ產出ヲ促サムトスル所ノ趣旨ニ過ギナイノデ、目下產馬地ニ於テハ一哩半以上ヲ走ルコトノ出來ルヤウナ良馬ハ殆ド稀有デアリマスカラ、已ムヲ得ズ骨格不完全ナル、能力ノ不十分ナル馬ヲ集メテ、サウシテ其堪ヘ得ル限りノ短距離ヲ走ラセルヨリ外ニ仕方ガナイノデアリマス、畢竟競馬用馬匹ノ體格ガ薄ッペラダト云フノ結果デハナクテ、長距離ノ競走ニ堪ヘルヤウナ完全ナル馬ガ未ダ產地カラ生レ出テ來ヌカラノコトデアリマス、言換ヘテ見マスレバ、競馬ノ要求ニ促サレテ馬產地ニ良馬ヲ出シ、又其中カラ撰拔シテ競走用ノ駿良ナルモノヲ獲、復タ其優等ナル馬匹ヲ種用ニ供シテ益、良馬ノ產出ヲ促シテ軍馬ノ要求ヲ充タサムトスルノ順序デアリマシテ、少シク歐米各國ノ產馬事業ノ實際ヲ知ル者ノ認識シテ疑ヒヲ容レヌ所デアリマス、願フニ競馬ノ創設以來マダ三年ニナリマセヌ、馬匹ノ改良僅ニ一步ヲ進メタルニ方ツテ、世人ハ早ク既ニ競馬事業ガ兵器ノ獨立ヲ全クシ軍用的輸送機關ノ充全ヲ期スベキ唯一ノ

手段デアルト云フコトヲ忘レテ仕舞ッテ、先ヅ其害毒ヲ痛撃シ、甚シキハ其根ヲ絶チ、葉ヲ枯ラサムトスルカノ如キ傾向ノアルノハ餘リニ輕卒ニシテ其短慮ナルニ驚カザルヲ得ヌデアリマス、古臭イ話ノヤウデアリマスガ、彼ノ東京市内ノ花ト言ハル、所ノ銀座ノ大通リデサヘモ、明治六七年ノ時代ニ於テ今ノ煉瓦石造ノ家が建設サレタ當時ノ有様ハドウデアリマシタラウ、如何ハシイ觀セ物ヤ、陋劣ナル際物店ノ巢窟デアッタト云フコトヲ追懷セラ、デアリマセウ、凡ソ社會ノ事業ハ其大ナルモノホド初メヨリ事ノ完備ナルヲ望ムベキデアリマセウ、宜シク之ヲ裁制補正シテ他年ノ大成ヲ圖ッテコソ誠ニ適當ノ政策デアルト云フコトヲ疑ヒマセウ、利ノアル所、害モ亦伴フト云フコトハ人事ノ通患デアリマシテ、其取捨ノ岐ル、所ハ唯利ト害トノ輕重如何ヲ顧ミルバカリデアリマス、競馬ハ弊害其モノニ非ズシテ、其方法ヨリ流れ出タル所ノ弊害ナル以上ハ、單ニ其取締問題ニ過ギヌコト、存ジマス、政府ガ曩ニ馬券ノ賣買ヲ許シマシタノヲバ之ヲ停止シテ、今復タ之ヲ公許スルト云フガ如キハ、如何ニモ昨非今是カ、或ハ昨是今非カ、兎ニ角朝三暮四ノ事情ニ於テ絶對ニ反對セラル、ト云フコトハ決シテ無理ナラスコト、察スルノデアリマスガ、元來本問題ガ非常ニ喧マシクナツテ參ッタノハ如何ニモ競馬會カラ湧出シタル副産物ニ相違ハアリマセウ、サリナガラ其主タル原因ハ政府御自身ガ競馬ニ對スル無方針コソ實ハ之ヲ然ラシメタノデアルコトハ本員ノ斷言シテ憚ラナイ所デアリマス、明治三十九年池上競馬會ノ創立ニ當リマシテ、政府當局者ハ全國ニ七箇所ノ競馬場ノ設立ヲ促シ、之ニ十分ノ保護ヲ加ヘテ大ニ產馬ノ改善ヲ圖ルト云フ方針ダト云フコトヲ說カレマシタ、時人ハ皆二十有餘年ノ前ニ於テ上野池畔ニ設ケタル所ノ競馬會ノ大失敗ト云ヘル往時ヲ回想シテ誰アツテ競馬ニ耳ヲ傾クル者サヘモアリマセナシタ、苦心慘澹、事業僅ニ成ルヤ、忽チ全國ニ競馬熱ガ勃興シマシテ其設立出願ノ件數ハ能クハ覺エテ居リマセウガ、無慮六七七十乃至八九十ニモ及ンダト云フコトデアリマス、當局者ハ須ラク大ニ之ヲ局限シテ節度ヲ定ムルト云フコトガナカッタナラバ多數許可ヲ受ケタル所ノ競馬會中ニ若シ看過スベカラザルノ失體ヲ暴露シテ社會ノ非難ヲ受クルト云フガ如キコトガ出來マシタ曉ニハ、事業停止ノ不幸ハ延イテ全局丸潰レトナツテ仕舞フト云フノ虞ガアリマスカラ、何卒濫許ノコトノ無イコトヲ望ムト云フ忠言ヲ當局者ニ披瀝シマシタコトモ一再ナラヌデアリマシタケレドモ、不幸遂ニ其聽ク所トナリマセヌデ、競馬

ノ烈熱ハ社會ノ耳目ヲ聳動シテ本員等ノ豫想ハ不幸ニモ的中スルヤウニナリマシテ、行政命令ノ一發ハ崑崙ヲ燬クノ猛火トナツテ全國競馬會ヲシテ一朝ニシテ焦土ト化シ去ラシメムトスル程ノ一大打撃ヲ被ラシメ、而カモ其中ニハ設立以來二十年以上ノ長キ歴史ヲ有スル所ノ横濱競馬會サヘモ亦殉死の類焼ノ災ニ罹ラシメタノデアリマス、之ヲ一隻ノ船デ以テ河川ヲ渡ラムトスル者ニ譬ヘテ見マシタナラバ船客先キヲ爭ウテ乗込シタノ船ガ其重サニ堪ヘズシテ沈没シタト同ジコトデアツテ、如何ニモ船客ガ溺没ノ不幸ニ遭ウタノハ船體ノ大小ヲモ考ヘズニ我レ先キニト乗込シタ結果ガカラ自ラ招グノ災難ニ相違ナイガ、併ナガラ其船頭殿ガ其限度ヲ超エテ無闇矢鱈ニ船客ヲ乗込マセタ結果トシテ顛覆サセタト云フ其責任ハ何レニ在ルカト申シタナラバ、ソハ乗込シタ者ノ疎虞懈怠ニ非ズシテ制限ヲ加ヘズシテ乗込マシタ船頭殿其人ニ在リト言ハナケレバナラヌト思ヒマス、若シ之ヲ無意識デヤッタト云フナラバ過失デアラウ、危ナイト云フコトヲ知リツ、ヤラレタナラバ、是ハ刑法問題ニモ關係スルカモ知レマセウ、要スルニ競馬執行方法ガ實ニ社會ノ風教ヲ害スルテフ大問題デアラナラバ、世人ハ何故ニ二十年來執行シツ、アッタ所ノ横濱競馬會ニ非難ノ聲ヲ放チマセヌデアリマシタラウ、ソレハ疑モナク世人ノ耳目ニ感觸スル所ガ無カッタニ違ヒナイノデアアル、其後ニ至ツテ陸續トシテ此處ヤ彼處ニ設立スルニ及ンデ非難ノ聲モ喧モシキニ至リマシタノハ畢竟是レ數ノ問題デアツテ、濫設ヲ許可シタト云フ結果デアルコトハ亦一點ノ疑ヒヲ挾ムノ餘地ガナイト信ジマス、惟ルニ競馬ノ開催ニ當リマシテハ畏クモ之ヲ天覽アラセ玉ヒ、又東宮殿下ノ行啓ヲ賜ハリ

〔子爵曾我祐準君「言語ヲ慎ミ給ヘ」ト述フ〕
或ハ御名代トシテ皇族殿下ノ台覽アラセラレ

〔子爵曾我祐準君「言語ヲ慎ミ給ヘ」ト述フ〕

特ニ帝室御賞典ノ御下賜ヲ蒙リマスル等、是レ皆馬匹改良御獎勵ノ御趣旨ニ出デタルモノト拜察シ奉ルノデアリマス、本員ハ本案ニ徹頭徹尾賛成ヲ表スル者デアリマセウ、先刻來申述ベマシタ所ノ論旨ヲ基礎トシマシテ本案ニ大修正ヲ加ヘテ其利ノアル所ヲ伸張シ、其弊ノアル所ヲ抑制シテ馬匹ニ對スル國家ノ要求ヲ充タシテ皇室御獎勵ノ御懿旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ望ムノデアリマス、然ルニ本案特別委員長ノ御報告ニ依リマシテモ既ニ否決ノ宣告ヲ受ケ、併セテ議場ノ大勢ノ既ニ非ナルコトハ一點疑ヒヲ容レザル以上デハ最早

此修正案ナドノ成立チ、又修正案提出ノ手續等ヲ爲スノ違ガアリマセスカラ、已ムヲ得ズ本員ハ本案大體ノ上ニ付イテ賛成ノ意ヲ述ブルト云フノ外ニ仕方ガナイノデアリマス、以上申述べタル事實ニ付キマシテハ諸君幸ニ一考ヲ給ハラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大木遠吉君 本員ハ政府當局者ニ質問ガアリマスガ、此際質問シテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵大木遠吉君 本員ハ此馬券賣買ト云フコトニ付イテハ絶對ニ同意ハ出來ナイノデアリマス、併シ其意味カラ現政府ノ施設ハ本員ハ萬事萬端、氣ニ入ラナイノデアアルガ、馬券ヲ禁止シタト云フコトダケニ付イテハ實ニ私ハ雙手ヲ舉ゲテ同意ヲ致シテ居ル、殆ド黑暗々裡ニ一道ノ光明ヲ認メタト云ッテモ宜イト深ク信ズルノデアアル、サリナガラ初メ此競馬ヲ獎勵シ、馬券ヲ默許シ云々ト云フヤウナコトヲ本員ハ度々耳ニ致シタ、然ルニ何ニ依ッテカ謂ハユル迅雷耳ヲ掩フニ違アラズト云フヤウナ仕方ヲ以テ咄嗟ノ間ニ之ヲ禁止シ、多大ノ迷惑ヲ會社ニ及ボシタカ、何故ニ初メハ獎勵シ、保護シ、而シテ物ニ成ッタトキニ忽チニシテ之ヲ禁止スル、如何ニモ立憲的ノ動作デナイノデアアル、ナゼサウ云フヤウナ急遽ニ之ヲ禁止シナケレバナラナイ必要ガアッタカ、其邊ノ所ヲ明瞭ニ、委員會ヤ其他個人ニ付イテ御話ガアッタカ知ラスガ、此公開ノ席ニ於テ責任アル國務大臣ヨリ明白ニ答辯ヲ冀ヒマス

〔國務大臣子爵寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵寺内正毅君) 大木伯ニ御答ヘ致シマス、最初馬匹改良上ニ付キマシテ競馬ヲ獎勵シ馬券ヲ許スノハ適當ナリト考ヘテ居リマシタガ、實行ノ結果、甚ダ國家ノ不利益ト見マシタカラ禁止イタシタ譯デアリマス

○伯爵大木遠吉君 ソレデハマダ質問ノ要領ヲ得マセヌ、ナゼサウ咄嗟ニ禁止ヲナサレタカ、理由ガ立チマセヌ、ソコヲ明白ニ御答ヲ願ヒマス

〔國務大臣子爵寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵寺内正毅君) 凡ソ物ハ實行シマシテ不利益ナリト認メルトキハ、國家ノ事モ大木伯ノ私事ニ於テモ同ジコトニ禁止スルト云フコトハ已ムヲ得ナイ……

○子爵曾我祐準君 本員ハ意見ヲ陳述イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 諸君、私ハ本案ノ委員ノ一人デゴザイマシタ、即チ此案ハ委員長ノ報告通りニ否決スベキモノト云フ一人デアリマシタ、私ハ此席ニ於テ加納子爵ノ御演說ニ對シテ反對演說ヲスルコトヲ少シモ光榮ト思ヒマセヌ、實ハ甚ダ迷惑デアリマス、加納子爵ハ今御席ニ居ラレナイカラ、ソレニ付イテ申スノハ甚ダ張り合ヒガナイ様デアリマスガ……

〔子爵加納久宜君「此處ニ居リマス」ト述フ〕

其處デスカ、加納子爵ニ對シテ、私ハ實ハ忍ビナイ心持ガスル、加納子爵ノ仰セラレマシタコトハ一々私ニハ合點ガ行カナイ、何トナレバ加納子爵ハ競馬ノ外即チ馬券ヲ賣ラナケレバ馬匹ノ改良ハ出來ナイト堅ク信ジテ居ラレル御一人ト見エル、之ニ付イテ先日來豫算委員會ニ於テ谷子爵ヲ始メ度々此コトハ政府ニ問ヒマシタ、然ルニ國務大臣ハ馬匹ノ改良ハ競馬ニ依ラズ馬券發賣ニ依ラズシテ出來得ルト言ハレタ、私ハ加納子爵ノモノノ御議論ト思フ、サリナガラ加納子爵ヨリモ此點ニ於テハ國務大臣ノ方ヲ信ズルノデアリマス、又軍事ニ付イテ馬匹ガ非常ニ必要ト云フ御講釋ガアリマシタ、之ニ付イテハ陸軍大臣ノ方ガ知ッテ居ル、且ツ經驗モ多シ學問モアリ知識モアリ調べ方モ廣イト信ズルノデアリマス、加納子爵ガ幾ラ之ヲ軍事ニ必要ト言ハレマスケレドモ、加納子爵ノ言ハル、軍事ニ馬ノ必要ト云フコトハ私モ不肖ナガラ心得テ居リマス、且ツ加納君ノ言ハル、様ナ馬バカリ軍事ニ必要デナイ、寧ロ大砲ナドヲ引ツ張ル馬ノ方ガ必要デアリマス、ソレハ自ラ別ニ競馬ノ方法ヲ立テタラバ宜イ、唯駟ケルバカリデハイケナイ、現ニ馬匹ヲ獎勵スルニハ牧場ニ十分ノ便宜ヲ與ヘ、產馬ニ十分ノ金ヲ與レル、斯ノ如クスレバ馬ハ改良シ得ルノデアリマス、又ソレデ出來ルダケ改良シテ其上ニ出來ネバソレデ宜イノデ、必シモ博奕ヲ盛ニシテ天下ノ人心……惡ルイ者ヲ澤山作ッテソレホド馬匹ヲ獎勵セヌデモ宜イノデアアル「ヒヤ」ト呼ブ者アリ」加納子爵ハ利ノアル所、害之ニ伴フト言ハレマシタ、私ハ害ノアル所、時トシテ利モ少シハ伴フト言ヒタイノデアアル、競馬モ馬券ヲ賣ッタナラバ、ソレヲ以テ馬ノ改良ニ少シモ役ニ立タナイトハ言ハナイ、幾ラ役ニ立チマス、併シ大ナル害ノアル所ニ小利ハ或ハ伴フカモ知レマセヌ、加納子爵ノ前段ハ大概コンナコトデ足ルト思ヒマス、後段ハ會社ノ損害ニ付イテ御歎願ノ様デアリマスガ、是ハ貴族院トシテ甚ダ迷惑スル、且ツ政府ノ行政ガ惡ルクテ損害シタナラバ其途デ救

濟ヲナスツタラ宜カラウ、法律デソレヲ打掛ケラレテハ甚ダ迷惑スルノデアリマス、今日ノ此法律ハサウ云フコトノ世話ハ出來ナイ、政府ノ發令ノシヤウガ惡ルカッタトカ損害シタトカ云フコトハ何モ法律ノ知ツタコトデナイ、其借金ガアルカラ此法律デ返サウ、ソレハ大迷惑デ、其借金ヲ負擔スルコトハ出來マセヌ、此法律ハ大木伯カラモ先刻御質問ガゴザイマシタガ、政府委員、國務大臣ハ極メテ單簡ニ述ベラレマシタガ、アノ筋ノコトハ昨日色々質問ガアリマシタ、政府委員ノ言ハル、コトハ先刻委員長ガ大概御報告ニナリマシタガ、昨日ノ委員ノ調査ニ依リマスト馬券ト云フモノハ初メヨリ政府ハ許シテ居ラナイ、默許デアル、サウシテ是ハ當時法律ニ反クヤ反カヌヤト云フコトハ一ツノ疑問デアル、而シテ馬券ヲ發賣シテ段々見タ所ガ其弊害百出殆ト言フベカラザルニ至ッテ世間ノ攻撃ト共ニ政府ガ檢束シナケレバナラヌト云フコトヲ覺ツテ禁止シタノデアルガ、當時偶々又新法律ガ出テ、其新法律ニ依ルト明カニ博奕ノコトヲ禁止シタコトニ的中シタカラ旁、以テ禁止シタ、是ハ私ハ明カナ答辯ト思フ、政府ノ答辯デ此位明瞭ナ答辯ハ餘リ多クノ場合ニ得ラレナイカモ知レナイト思フ、先刻大木伯ノ御質問ガアッタニ依ッテ序デニ御答ヘ申シテ置キマス、右ノ如キ理由ヲ以テドウゾ願ハクハ加納君ノ外ハ皆御賛成ヲ願ヒマス

○伯爵大木遠吉君 私ハマダ質問ガ殘ッテ居リマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵大木遠吉君 唯今、曾我子爵ノ御報告ニ依リマスト默許ト云フ形ガアツタト云ヤウニ聞エマシタガ、果シテ默許ダケデゴザイマシタカ、寧ろ獎勵シタト云フヤウナ傾向ヲ本員ハ度々耳ニ致シマシタガ、獎勵ナサツタコトハアリマセヌカ、單ニ默許ダケデアリマスカ、ソコヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒマス

〔國務大臣子爵寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵寺内正毅君) 大木伯ニ御答イタシマスガ、唯今ノ曾我子爵ノ言ハレタ通りデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ發言者モナイト認メマスカラ討論ハ是デ終局シタモノト認メマス、採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○子爵鍋島直彬君 此際議事日程ヲ變更セラレテ耕地整理法改正法律案ノ一讀會ノ續ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○村田保君 賛成

〔賛成ト呼フ者アリ〕

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ハ……

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ退席ヲ……

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ豫算委員會ニ退席セラレタイト云フ要求ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔伯爵吉井幸藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 吉井伯爵ハ何デスカ

○伯爵吉井幸藏君 本員ハ委員會ヲ開キタウゴザイマス、貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 吉井伯爵ノ是ヨリ特別委員會ヲ開キタイト云フ要求ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、鍋島子爵ノ議事日程追加ノ動議ニハ別ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、故ニ是ヨリ耕地整理法改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、鍋島子爵

耕地整理法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

子爵 鍋島 直彬

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

○子爵鍋島直彬君 本案委員會ノ經過及結果ヲ報告イタシマス、耕地整理法改正法律案ノ委員會ハ去ル二十日ニ正副委員長ノ互選ヲ致シマシテ、同日ハ時間ガ乏シウゴザイマシタ爲ニ互選ダケニ止メマシテ委員會ヲ開クコトハ致シマセズデゴザイマシタ、昨二十二日今日ノ兩日、委員會ヲ開キマシテ、本案ハ可決スベキモノト議決イタシマシタノデ、其經過結果ノ大要ヲ報告イタシマス、御承知ノ通り此耕地整理法ハ現行法ハ三十三年ニ發布セラレマシタルモノデ、殆ド十年間ヲ經過イタシテ居リマス、其十年間ノ經過ノ概略ヲ述ベマスレバ初メハ年々三千町歩若クハ五千町歩クキノ整理デゴザイマシタノガ三十八年以後ハ餘ホド急ニ進ミマシテ年々一万町歩若クハ三万町歩ト云フヤウニ後ニハ整理事項ガ進行イタスコトニナリマシテゴザイマス、四十年ノ末ノ調査ニ依リマス耕地整理ヲ進行イタシマシタル土地ハ十二万五千町歩、其中十萬町歩ハ既ニ工事ヲ終リマシテ、アトノ二萬町歩ハ目下工事中デアルト申スコトデゴザイマス、北海道ヲ併セマシテ今後尙ホ開墾イタスベキ土地ガ凡ソ百萬町歩アル見込デアルト申スコトデ、此改正案デ、即チ耕地整理法ヲ適用シテ開墾等ノコトモ此度ノ改正案ノ適用デ行ハレルヤウニナリマスノデゴザイマス、既ニ整理イタシマシタル所ノ其利益ノ有様ハ二割若クハ三割多キハ五割ノ增收ヲ得ツ、アルト云フコトデゴザイマス、右様ナ次第デ最早各地方トモ此整理ノ有利ナルト云フコトハ認メテ居ルノデゴザイマス、ソレデ先キニ述ベマシタル十萬町歩ノ整理ノ結果ハ其改良若クハ開墾等ニ依リマシテ、凡ソ三十五萬石ヨリ四十萬石クキノ增收ヲ得テ居ルト云フコトデゴザイマス、過去ノ有様、十年間ノ有様ハ斯ノ如キモノデゴザイマシテ、最早此耕地整理ノ極メテ有利ナリト云フコトハ事實上毫モ疑ヒヲ容レヌコトデゴザイマス、併ナガラ尙ホ此現行ノ整理法ハ不十分ナ點ガ多クゴザイマスニ依ッテ此度ノ改正案ヲ出サレタト云フノガ趣意デゴザイマス、尙ホ前後イタシマシタヤウデゴザイマスガ、委員會ノ初メニ當ッテ委員ヨリ政府ニ希望ヲ述ベラレタルコトヲ概略御報道ヲ致シテ置キマス、其コトハ此耕地整理法案ハ百二箇條ノ浩瀚ナル法律案デアアル、然ルニ會期ノ餘日ノ無イ今日ニ至ッテ委員ニ付託サレルト云フコトニナッテハ甚ダ不都合デアアル、ドウカ斯ノ如キ浩瀚ナル議案ハ今後ハ必ズ會期ノ初メ若クハ會期ノ半バ頃マデニデモ提出セラレヌケレバ甚ダ不都合ナル次第デアルト云フコトヲ申述ベラレタル所、政府ニ於テ

モ委員ノ申ス所ヲ諒トセラレマシテ實ハ此案ハ大藏省トカ或ハ内務省司法省アタリニ交渉ヲセネバナラス事柄ガアッタノデ、之ガ爲ニ心ナラス時日ヲ費ヤシ甚ダ不本意デアアル、今後ハ委員ノ希望ノ如ク成ルベク斯ノ如キモノハ會期ノ餘日ノ無イ會期末ニナッテ提出スルト云フコトノナイヤウニ飽クマデ注意スルト云フ答ヘデゴザイマシタ、ソレデ此案ニ付イテ政府委員ヨリモ餘ホド詳細ナル説明ガゴザイマシタ、現行法ト此節ノ改正案ノ異ナル所以、改正セラレタル所ノ要旨等ニ付イテ詳ニ述ベラレマシテ、委員モ皆其改正ノ極メテ有益ナル餘ホド進歩シタル改正ト云フコトヲ承知イタシマシタノデゴザイマス、サテ是ダケノ百條餘ノモノヲ兩日デ審査ヲ終リマシタト申スコトハ或ハ委員ニ於テ輕々ト審査ヲ了シタノデハナイノカト云フ御疑ヒガアルカモ知レマセヌガ、是ハ此節新ニ出マシタ法律案ニアラズシテ十年間ノ經驗ニ依ッテ實際不都合ナル點ヲ改正セラレタル法案デゴザイマシテ、事柄ハ能ク明瞭ニ分ツタル法案デゴザイマス、ソレデ一々參考書ナドデ……此改正ノ要旨ハ參考書ニ據リマスレバ現行法ト改正法案トノ比較、對照、ソレカラ耕地整理ニ關シマスル施行上ノ參考書モゴザイマスガ、是等ヲ皆述ベマスレバ餘ホド長イ間……二時間グラキ此演壇ニ立タヌケレバナラスコトニナリマス、ソレ等ノコトハ一切省キマシテ、先ヅ此耕地整理法ハ申スマデモゴザイマセヌ、最モ此農産ノ増殖ヲ圖ッテ農民ノ農業上ノ發達ヲ爲サシムル重要ナ事柄デゴザイマス、ソレデ皆改正ノ有益、有利ナリト云フコトヲ一々舉ゲテ述ベマスレバ餘ホド繁雜ニナリマス、故ニ最モ重モナル所ノ理由ヲ二三舉ゲテ改正案ノ餘ホド進歩イタシタ次第ヲ述ベタイ、第一ハ此現行ノ法デハ開墾若クハ地目變換等ヲ獎勵イタスト云フコトハ農産物ノ獎勵上、極メテ緊要ナコトデゴザイマスガ、此現行法デハ是等ノコトヲ目的トシテ耕地整理ヲ爲スコトガ出來ヌト云フ有様デゴザイマス、ソレデ此度ノ改正案ニハ右様ナ開墾地目變換ナド、云フ農事上、最モ有利ナル事柄ヲ即チ耕地整理ノ目的中ニ加ヘタノデゴザイマス、ソレカラ今一ツハ此耕地整理ヲ施行イタシマス上ニ於テ土地所有者ノ團體ニ法人ノ資格ヲ與ヘテナイノデゴザイマス、ソレ故ニ此權利義務ノ主體……主體ナルモノガ出來ナイノデゴザイマス、ソレガ爲ニ種々不便ヲ生ズルト云フコトニナルノデゴザイマス、此度ノ改正案ニハ法人ノ資格ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居リマス、今一ツハ此整理ノ施行上ニ付イテ現行法ハ甚ダ手續ガ繁雜デゴザイマス、認可權ノコトモ種々ノ認可ヲ經ヌケレバナラ

ス、其認可ノ煩ヒ手數ヲ簡易ニ致シマシタ、認可ヲ請フ手數ヲ簡易ニ致シマシテ、尙ホ其認可權ハ主務大臣ニ屬シテ居ッタノハ此度ハ地方長官ノ職權ニ移シ、監督權ガ是マデハ主務大臣ノ監督ニ屬シテ居ッタノヲ、事實上差支ナイ限リハ之ヲ地方長官ノ監督ニ歸スルト云フコトニナリマシタ、餘ホド是ハ手續ヲ簡捷ニシテ事業ノ進捗ヲ圖ルト云フ上ニ於テ極メテ便利デアラウト思ヒマス、其他此整理ノ結果トシテ生ジマシタ所ノ耕作物ノ維持管理ト云フヤウナコトニ付キマシテモ現行法ニハ何モ規定ガ設ケテゴザイマセヌ、ソレデ整理施行ノ效果ヲ完ウスルコトガ出來スト云フヤウナ遺憾ナル事柄ガ生ジマスノデゴザイマス、ソレデ改正案ニ於テハ是等ノコトモ一事項トシテ加ヘテアルト云フヤウナ譯デ、其他改正ニナリマシタ箇條ヲ一々舉ゲマスルト云フコトハ唯徒ラニ時間ヲ費ヤスコトデアラウト存ジマス、大凡此度ノ改正案ハ十年間ノ經驗ニ依ッテ實際上不都合ヲ感ジ、其簡易ナ手續方法ヲ定メテ目的ヲ擴メテ耕地整理ノ效果ヲ力メテ偉大ナラシムルコトヲ圖リ、農産物ノ増殖ヲ圖ルト云フ上ニ於テ最モ結構ナル法案ト委員ニ於テハ何レモ認メタノデゴザイマス、ソレデ此百條以上ノモノデゴザイマスカラ、逐條ニ之ヲ細カニ研究スルト云フコトハ兩日ノ間デハ頗ル困難デゴザイマシタケレドモ、事柄ガ能ク分ッテ居リマス、ソレデ委員ニ於テモ時日ハ乏シウゴザイマスカ、及ブダケ殆ド他ノ事ハ抛ッテ此法案ノ調査ヲ致スコトニ何レモ勉強イタシマシテ、十分ナ審査ヲ致シタノデゴザイマス、其結果トシテ誠ニ此改正案ハ必要ナル改正案デ、大ニ進歩イタシタル結構ナ改正案デアアルニ依ッテ是ハ速ニ此通り議決セラル、ヤウニアリタイト云フ趣意ヲ以テ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議決イタシタノデゴザイマス、ソレデ唯今申上ゲマシタヤウニ箇條ハ極メテ多ウゴザイマスケレドモ、事柄ハ能ク分リ切ッタ事柄デアリマス、別ニ之ニ向ッテ諸君ニ於テモ「分リマシタ」ト呼フ者アリ御議論若クハ御修正ノ御説モゴザイマセヌ……、ソレカラ尙ホ少シ申シ落シマシタノハ、衆議院ノ修正ガ大變加ハッテ居リマス、是モ政府委員ヨリ能ク修正ニナリマシタ次第ヲ承リマシタ、衆議院ニ於テハ餘ホド細密ニ調査ニナリマシテ修正ニナリマシタモノデゴザイマシテ、委員會ニ於テハ此衆議院ノ修正通り少シモ異議ナク此通りニ可決イタシタノデゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、斯様ナ次第デゴザイマス故ニ、本案ハ何卒讀會ヲ省略セラレマシテ直チニ議決アラムコトヲ望ミマス

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ委員長ニ質問デアアリマセヌ、質問デアアリマセヌガ、本員ハ唯今委員長ガ御報告ニナリマシタ冒頭ニ委員會ノ希望ヲ述べラレタコトニ付イテ一言希望ヲ述べタイト考ヘマス、此法案ヲ拜見シマス、百何箇條ト云フ大變條數ノ多イ案デアリマス、本案ノミナラズ今朝決議ニナリマシタ特許法改正法律案外四件ノ案モ何レモ殆ド百箇條ニ近イ長イ案デアリマス、此ノ如キ長文ノ案ヲ議會ノ會期切迫ノ際ニ提出セラレルト云フコトハ遺憾ノ次第デアルト考ヘマス、ナゼナラバ貴族院ノ體面トシテ何レノ案モ慎重ニ審議シナケレバナラナイ義務ガアルノデゴザイマス、故ニ是等ノ希望ハ年々歳々起ルコトデアリマシテ、今日ノ案ノミニ希望ガ出タノデハ無イノデアリマス、幸ニシテ政府委員モ委員會ノ初メニ於キマシテ、將來ハ會期切迫ノ際ニハ此ノ如キ長文ノ案ハ提出セスト云フコトヲ明言サレタト云フコトデアリマスカラ、本案ハ無論委員長ノ御報告デ能ク分リマシタカラ、謂ハユル官判的ニ賛成ハ致シマスケレドモ、ナラウコトナラバ政府委員ニ於テ、次ノ議會ヨリハ此ノ如キ長文ノ案ハ會期切迫ノ際シテハ提出セスト云フコトヲ明言シテ置カレムコトヲ希望イタシマス

○村田保君 本員ハ讀會省略ヲ賛成イタシマス

○子爵大宮以季君 賛成

○子爵渡邊昇君 賛成

○男爵園田安賢君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○仁尾惟茂君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 是カラ可否ノ決議ニ移ル前ニ政府委員カラ唯今ノ私ノ希望ニ對シテ一應御答ヲ得タイト考ヘマス

〔政府委員下岡忠治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(下岡忠治君) 唯今ノ廣澤伯爵ノ御問ニ御答イタシマス、實ハ此耕地整理法ハ御承知ノ通り非常ニ浩瀚ナル法律デゴザイマシテ既ニ三四年來、此調査ニ掛ッテ居リマシタ、サウシテ度々改案等ヲ致シ調査ニ調査ヲ重ねマシテ各省ニ關係ノ事ガ非常ニ多クゴザイマスノデ、此成案ニナリマシタノハ昨年ノ十一月頃ニ成案ニナリマシタノヲ各省關係デ再ビ調査ヲ重ネタ結果、非常ニ提出ガ延引ニナッタト云フコトハ政府トシテモ遺憾ノコトデゴザ

イマス、併ナガラ將來ニ於テハ十分ニ注意ヲシテ斯ウ云フ大法律ニ付イテハ成ルベク會期ノ初メ、少ナクトモ會期ノ半バマデニハ各院ニ回ルヤウニスルト云フコトニ付イテハ十分ニ注意ヲ怠ラヌコトニ致シマス

○男爵園田安賢君 是ヨリ新聞紙法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ退場ヲ致シタウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 園田男爵ノ特別委員會ノ開會ノ爲ニ退席ノ要求ニ對シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ御起立ヲ請ヒマス

〔「唯今讀會省略ニナツタト思ヒマスカ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガ無イト認メマシタ、……議長ガ宣告済デゴザイマスカラ……本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵鍋島直彬君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、本案全部ノ問題ニ供シマス、全部、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵鍋島直彬君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳澤保惠君 此際、唯今委員會デ可決ニナリマシタ輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法案ノ本議ニ上ボルコトヲ希望イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 賛成シマス

○議長(公爵德川家達君) 柳澤伯爵ノ議事日程追加ノ動議ニハ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、柳澤伯爵

輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月二十三日

右特別委員長

伯爵 柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 諸君、輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法案、此法案ニ付キマシテハ唯今ヨリ二時間ホド前、委員會ヲ開キマシテ十分ニ政府ノ説明ヲ聴キ、委員ヨリモ質問等ゴザイマシテ、異議ノ無イコトニナリマシテ可決ニナリマシタ、是ハ御承知ノ如クニ消費稅ヲ課セラレマシタル砂糖ヲ用キテ造リマシタ菓子又ハ糖果ヲ輸出シマスル場合ニ、ソレニ使ヒマシタ砂糖ニ對シテ戻稅ヲシヤウト云フ案デゴザイマス、極メテ簡單明瞭デ、委員會ニ於テハ之ヲ尤モト認メマシテ可決ニナリマシタ、何卒簡單ナ案デゴザイマスカラシテ讀會省略ヲ以テ直チニ可決ニナラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○村田保君 賛成

○山本達雄君 賛成

○男爵徳川厚君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○男爵北島齊孝君 賛成

○男爵北大路實信君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 柳澤伯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十三、韓國橫貫鐵道速成ニ關スル請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

韓國橫貫鐵道速成ニ關スル件

韓國元山商業會議所會頭大田儀三呈出
右ノ請願ハ韓國ヲ經營シ日韓ノ貿易ヲ發展セシメムカ爲韓國橫斷鐵道ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 是ハ請願委員長ノ報告通り採擇ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○田中芳男君 本日ノ請願ハ大分ゴザイマスガ、是ハモット御東ネニナツテモ異議ハアリマセヌガ、唯一ツ本員ガ此最モ末ノ五十二付イテ……

○議長(公爵徳川家達君) 田中君ニ申上ゲマスガ、マダ議長ハ何ヲ問題ニ供シテ居ルカ申シマセヌカラ暫ク御控ヘテ願ヒマス、三宅君ハ請願ノコトニ付イテ何カ御發言ガゴザイマスカ

○三宅秀君 ゴザイマス、唯今問題ニナラムトシテ居リマス次ノ第二十四ノ日程ニ付イテ一言申上ゲタイノデアリマス、是ハ同ジ題名ノ請願ガ昨日三件出テ居リマシテ、曾我子爵ノ御意見デ昨日ノ日程ハ延バシテ置イタラ宜カラウト云フコトデゴザイマシタ、ソレニ付キマシテ昨日ハ臨時ニ委員會ヲ開キマシテ、昨日延期ニナツテ居リマスル三件ト合セテ今日二十四ニ登ツテ居ル日程ニ付キマシテ審議ヲ致シマシタ所ガ、是ハ豫算ガ通過シテ居ルコトデアリマスルカラ請願ノ趣意ハ徹底シテ居ルノデアル、ソレ故ニ日程カラ撤回イタシマシテ、サウシテ採擇ノ方ニ入レマスル積リノ決議ヲ致シマシタ、其事ヲ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 三宅君ニ伺ヒマスガ、議事日程ノ第二十四ノ請願ハ撤回スルト云フノデアリマスカ

○三宅秀君 左様デゴザイマス、昨日延期ニナツテ居リマスル此三件ト二十四トハ全ク同ジモノデアリマス、是ハ委員會ノ方デハ日程ヲ削除イタシマシテ撤回イタシマスル考デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 三宅請願委員長ノ唯今ノ發言ノコトハ諸君ニ於テモ御異論ナイコト、考ヘマスルカラ、別段決ヲ採ルニ及ブナイト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十五、營業稅其ノ他稅制整理ニ關スル請願、第二十六、福岡郵便局ヲ一等局ト爲スノ請願、第二十七、甲府岩淵

間鐵道速成ノ請願、第二十八、越羽沿海鐵道及陸羽橫斷鐵道速成ノ請願、第二十九、帝國軍人後援會國庫補助ノ請願、第三十、登記所設置ニ關スル請願、第三十一、鐵道速成ノ請願、第三十二、登記所設置ノ請願、第三十三、動物飼料鐵道運賃割引ニ關スル請願、會議

意見書案

營業稅其ノ他稅制整理ニ關スル件

神奈川縣橫濱市常盤町日本輸出絹同業組合聯合會組長茂木保平呈出
右ノ請願ハ商工業者ノ負擔ニ係ル營業稅其ノ他ノ直接稅ハ頗苛重ニシテ政府ハ曩ニ稅制ノ整理ヲ企テ法律案ヲ議會ニ提出シタリト雖頗姑息ノモノタルヲ以テ速ニ適當ナル稅制整理法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

福岡郵便局ヲ一等局ト爲スノ件

博多商業會議所副會頭石村虎吉呈出
右ノ請願ハ福岡郵便局ノ取扱ニ係ル通信事務ハ九州ニ冠タルモノニシテ將來益頻繁ヲ加フヘキ趨勢ナルヲ以テ同局ヲ一等郵便局トナシ其ノ設備ヲ擴張シ以テ事務ノ敏活ヲ圖リ商工業ノ發達ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

甲府岩淵間鐵道速成ノ件

山梨縣甲府市山田町生絲製造業田中文輔外百十九名呈出

右ノ請願ハ甲府岩淵間ノ鐵道ノ敷設ハ本州中部ヲ橫斷シ地方產業ノ發達ヲ促スモノタルノミナラス國防上最緊要ナルヲ以テ豫定ノ敷設計畫年度ヲ繰上ケ速ニ之ヲ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

越羽沿海鐵道及陸羽橫斷鐵道速成ノ件

山形縣西田川郡鶴岡町長林茂政外十八名呈出
右ノ請願ハ新潟縣新發田ヨリ村上山形縣鶴岡酒田秋田縣本庄ヲ經テ秋田ニ達スル越羽沿海鐵道及與羽線ヨリ分岐シテ山形縣新庄ヨリ酒田ニ至ル陸羽橫斷鐵道ノ敷設ハ地方ノ利便ヲ開發スルノミナラス日本海岸地方ノ發展上最緊要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

帝國軍人後援會國庫補助ノ件

東京府豐多摩郡戸塚村帝國軍人後援會理事伯爵大隈重信外九名呈出
右ノ請願ハ請願人等ノ組織ニ係ル帝國軍人後援會ハ多數ノ軍人家族遺族及癆兵ヲ救護シテ國家ニ貢獻シタルコト多大ナリシモ近時被救護者ノ數著シク増加セルト被救護者ニ對スル世人ノ同情漸ク薄キニ至レルトハ斯業ノ前途ニ付望洋ノ歎アラシムルモノナルヲ以テ國庫ヨリ同會ニ幾分ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

登記所設置ニ關スル件

三重縣北牟婁郡引本町平民公吏櫻井平八外三十六名呈出

右ノ請願ハ三重縣北牟婁郡引本町外四箇村ハ戸口多ク登記事件頻繁ナルニ拘ラス登記所ヲ距ルコト遠クシテ登記未了ノモノ多ク公私ノ煩累少カラサルカ故ニ此ノ弊ヲ除カムカ爲速ニ引本町内ニ木ノ本區裁判所出張所ヲ設置シ登記事務ヲ取扱ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鐵道速成ノ件

宮崎縣南那珂郡飯肥町平民高橋源次郎外六名呈出

右請願ハ鐵道敷設法第二條ノ規定ニ依リ宮崎縣下ヲ縦貫スヘキ鐵道ハ之ヲ吉松人吉間ノ鐵道ノ開通ト同時ニ起工スルトキハ管ニ地方ノ利便ヲ増進スルノミナラス工事ノ上亦有利ナルヲ以テ速ニ之ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

登記所設置ノ件

德島縣美馬郡半田村長大久保龜吉外七名呈出(一通)

右ノ請願ハ德島縣美馬郡半田村ハ戸口多ク登記事件益頻繁ヲ加フルニ拘ラス登記所ヲ距ルコト遠クシテ登記未了ナルモノ多ク地方ノ煩累少カラサル

ヲ以テ此ノ弊ヲ除カムカ爲半田村ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

動物飼料鐵道運賃割引ニ關スル件

東京市下谷區二長町畜產業和田該輔外七名呈出

右ノ請願ハ肥料食鹽砂糖等ノ鐵道運賃ニハ割引ノ道ヲ開カレタルニ拘ラス動物飼料品ノ運賃ニ付未タ此ノ制ヲ設ケラレサルハ其ノ價格ヲ騰貴セシメ畜產業ヲ萎微セシムルモノナルヲ以テ此ノ關點ヲ除カムカ爲速ニ飼料運賃割引ノ典ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 何レモ請願委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三十四、種畜ノ鐵道輸送ニ關スル特別取扱ノ請願、第三十五、輸入牛取締ノ請願、第三十六、牛疫豫防血清製造所設立ノ請願、第三十七、輸入家畜飼料取締ノ請願、第三十八、酒造税法改正ニ關スル請願、第三十九、官營事業ニ對スル救済ノ請願、會議

意見書案

種畜ノ鐵道輸送ニ關スル特別取扱ノ件

東京市下谷區二長町畜產業和田該輔外七名呈出

右ノ請願ハ政府ハ彙ニ種畜ノ鐵道運輸ニ關シ特別ノ取扱方法ヲ設ケラレタ
リト雖其ノ特典ニ浴セムニハ一週間以前ニ於テ種畜所在地地方長官ノ證明
ヲ得サルヘカラサルカ爲或ハ却テ特典タラサルノ結果ヲ生スルヲ以テ此ノ
期間ノ制限ヲ撤スルト共ニ簡易ナル手續ニ依ルヲ得シメラレタシトノ旨趣
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十
五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

輸入牛取締ノ件

東京市下谷區二長町畜産業和田該輔外七名呈出

右ノ請願ハ現行ノ牛疫檢疫ノ方法及設備ハ甚不完全ニシテ其ノ目的ヲ達ス
ルコト能ハサルヲ以テ輸入牛畜ニハ少クモ五十日間ノ緊留ヲ命シテ其ノ
健康ヲ檢シ且清韓兩國又ハ同地ヲ經テ來レル生牛ノ輸入ハ之ヲ禁止シ同時
ニ病毒ノ媒介タルヘキ牛皮牛骨等ニ對シ一層ノ取締ヲ加ヘラレタシトノ旨
趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

牛疫豫防血清製造所設立ノ件

東京市下谷區二長町畜産業和田該輔外七名呈出

右ノ請願ハ牛疫豫防血清ノ供給十分ナラサルカ爲昨年ノ如キハ病毒ニ府十
六縣ニ蔓延シ三千餘頭ノ良畜ヲ撲殺スルノ已ムナキニ至リシニ鑑ミ速ニ完
全ナル血清ノ製造所ヲ設ケテ之ヲ供給ヲ裕ニシ以テ永久ニ禍根ヲ絶タレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

輸入家畜飼料取締ノ件

東京市下谷區二長町畜産業和田該輔外七名呈出

右ノ請願ハ畜産ノ發達ニ伴ヒ飼料ニ充ツヘキ穀ノ需要激増シ之ヲ上海ヨリ
輸入スルコト尠カラサルニ至リタルモ所謂上海穀ハ不潔ナル清國麥ヲ原料
トスルモノナルヲ以テ動物ノ衛生ニ有害ナルノミナラス怖ルヘキ牛疫ノ傳
播モ之ニ基因スルノ疑アルヲ以テ輸入牛ノ取締ヲ嚴ニシ且有病地ヨリ來ル
輸入穀ニ對シ十分ノ消毒ヲ勵行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ
大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付
候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

酒造税法改正ニ關スル件

兵庫縣武庫郡御影町酒造業嘉納治郎右衛門外三名呈出

右ノ請願ハ現行ノ酒造税率ハ過重ニシテ酒造者ヲシテ甚シク悲境ニ沈淪セ
シムルモノナルヲ以テ之ヲ緩和セシムル爲納税期第四期ヲ五月ニ繰下ケ及
火入貯藏ニ因ル清酒ノ減量ヲ五月一日ノ現在石數ノ百分ノ五トシ之ニ對ス
ル課税ヲ免除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

官營事業ニ對スル救済ノ件

青森縣北津輕郡小泊村平民郡會議員前田其平外七名呈出

右ノ請願ハ青森林區署ニ於テハ中山森林ヲ斫伐シ請願人等ノ地方ニ於ケル狹小ナル川流ニ多量ノ木材ヲ流下シ又鐵道ヲ敷設シテ木材運搬ノ用ニ供シ堤防ヲ突破シ流水ヲ妨ケ灌漑ヲ害シ人民ニ多大ノ損害ヲ被ラシムルヲ以テ之ヲ損害ヲ賠償セシメ尙將來ニ向テ人民ノ満足スルニ足ルヘキ適當ノ方法ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

○議長(公爵德川家達君) 內閣總理大臣侯爵桂太郎殿
總テ請願委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四十、利根川及江戸川浚渫工事速成ノ請願、第四十一、煙草葉數査定廢止ノ請願、第四十二、郡域變更ノ請願、第四十三、渡良瀨川沿岸地方特別地價再修正ノ請願、第四十四、足尾銅山鑛毒被害地地價修正漏地價修正ノ請願、第四十五、區裁判所出張所設置ノ請願、第四十六、共同苗代設置規定廢止ニ關スル請願、第四十七、電話所設置ノ請願、第四十八、庄内川改修ニ關スル請願、第四十九、電話通話事務開始ノ請願、會議

意見書案

利根川及江戸川浚渫工事速成ノ件

埼玉縣北葛飾郡栗橋町平民農根岸門藏外千三百八十六名呈出

右ノ請願ハ利根川浚渫ノ速成ハ沿岸地方人民ノ生命財產ニ及ホス災厄ヲ防止スルニ必要ニシテ殊ニ第三期工事ヲ行フヘキ區域ニ在リテハ益其ノ急施ノ緊要ナルヲ認ムルヲ以テ第三期ノ計畫ヲ繰上ケ速ニ第二期工事ト共ニ之ヲ完成シ同時ニ江戸川流域ノ浚渫ヲ遂行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

煙草葉數査定廢止ノ件

鹿兒島縣肝屬郡垂水村長宮原景吉外四名呈出

右ノ請願ハ煙草專賣法中煙草葉數査定ニ關スル規定ハ收納上ノ犯則者ヲ拘束セムトシテ反テ誠實ナル一般耕作人ヲ過度ニ牽束スルノミナラス査定上ノ手續繁苛ニシテ煙草耕作ノ振興ヲ害スルノ弊アルヲ以テ該規定ヲ削除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郡域變更ノ件

群馬縣山田郡矢場川村平民農尾林長次郎外七十名呈出(二通)

右ノ請願ハ群馬縣山田郡韭川村外三箇村ハ古來新田郡ト人情風俗產業水利等ヲ同ウシ通信登記ノ事務ハ總テ新田郡太田町所在官衙ノ管轄ニ屬スル等之ト密接ノ關係ヲ有スルニ反シ山田郡トハ此等ノ關係薄ク且郡役所所在地ヲ距ルコト遠ク交通ニ不便ナルヲ以テ新田郡ノ區域ニ編入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

渡良瀨川沿岸地方特別地價再修正ノ件

群馬縣山田郡矢場川村平民農尾林長次郎外六十三名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ地方ハ鑛毒被害地ニシテ明治三十七年法律第十六號ニ依リ畑地ニ屬スル部分ノ外ハ地價修正ノ恩典ニ浴シタルモ其ノ修正タルヤ被害ノ程度ニ副ハス且甚不公平ノモノナリシカ故ニ曩ニ再修正ノ請願ヲ貴衆兩院ニ呈出シ其ノ採擇スル所トナリタルモ政府ハ未タ之ヲ實行セサルヲ以テ速ニ決行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

足尾銅山鑛毒被害地地價修正漏地價修正ノ件

群馬縣邑樂郡佐貫村平民農駒宮藤吉外百三名呈出

右ノ請願ハ群馬縣邑樂郡佐貫村外二箇村内一部ノ田畑ハ明治三十七年法律第十六號ノ特別地價修正ニ漏レタルカ故ニ曩ニ地價修正ノ請願ヲ貴衆兩院ニ呈出シ其ノ採擇スル所トナリタルモ未タ之ヲ實行セラレサルヲ以テ速ニ實行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

區裁判所出張所設置ノ件

長野縣南佐久郡北牧村長井出伊重郎外四名呈出

右ノ請願ハ長野縣南佐久郡北牧村外四箇村ハ多數ノ戸口ヲ有スルモ所轄區裁判所出張所ヲ距ルコト遠ク交通不便ニシテ登記申請ノ爲無用ノ勞費ヲ要スルコト大ナルヲ以テ之カ不便ヲ除カムカ爲同郡南部ニ於テ樞要ノ地タル北牧村内ニ區裁判所出張所ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

共同苗代設置規定廢止ニ關スル件

廣島縣安佐郡口田村平民岩田新吉外二千七百五十一名呈出(四通)
右ノ請願ハ廣島縣ニ於テハ縣令ヲ以テ共同苗代ノ實施ヲ強制セラレタルモ此ノ制ハ他縣ニ於ケル實例ニ徴シ及實際ノ研究ニ鑑ミルモ徒ニ農民ヲ苦シムル無益ノモノナルヲ以テ政府ニ於テ適當ナル救濟方法ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

電話所設置ノ件

岡山縣川上郡成羽町長中村久武呈出

右ノ請願ハ岡山縣岡山市高梁町成羽町間ハ交通日ニ頻繁ヲ加フルモ通信機關ノ設備ヲ闕キ不便少カラサルヲ以テ此ノ地域ヲ一回線トスル電話所ヲ設置シ尙將來電話交換事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

庄内川改修ニ關スル件

愛知縣西春日井郡西枇杷島町長平手秋太郎外十五名呈出

右ノ請願ハ尾張國庄内川ハ沙泥堆積シテ河床ノ隆起甚シク霖雨ニ際スル毎ニ洪水汎濫シテ沿岸町村ノ被害夥シト雖之カ改修工事タル到底地方民力ノ堪フル能ハサル所ナルヲ以テ國費ヲ以テ速ニ之ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

電話通話事務開始ノ件

岡山縣上房郡高梁町長表内鑑一郎呈出

右ノ請願ハ岡山縣上房郡高梁町ハ戶口多ク貨物ノ集散頻繁ニシテ備中商工業ノ中心ナルモ未タ電話事務ノ開始ヲ見ス不便少カラサル以テ高梁郵便局ニ於テ之ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 總テ請願委員長ノ報告通りテ御異議ハゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五十、姫路城保存ノ請願、田中君

意見書案

姫路城保存ノ件

兵庫縣姫路市龜井町平民大森與三次外四十名呈出

右ノ請願ハ姫路城ハ古來本邦屈指ノ名城ニシテ教育産業等ニ裨補スル所尠カラサルニ依リ今ヤ漸ク頽敗セムトスル同城ヲ修補シ之ヲ永遠ニ保存セラ

レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○田中芳男君 請願委員長ニ承リタウゴザイマスガ、本員此請願ヲ見マスルニ何レモ簡單ナ文章デゴザイマスカラ實ハ趣意ノ分ラスコトモゴザイマスルガ、ソレハ私ノ知識ノ足ラスコト、思ヒマスカラ質問ハ致シマセス、然ルニ此姫路城保存ニ付イテノ請願ハドウ考ヘテモ分ラヌカラ是ハ委員長ニ御説明ヲ願ハネバナリマセス、姫路城ハ古來本邦屈指ノ名城ニシテ教育産業等ニ裨補スル所尠カラサルニ依リ」ト斯ウシテアル、デ屈指ノ名城ガ教育産業ニ裨補スルト云フコトハ、ドウモ我々愚昧ノ者ニハ何分ワカリマセヌカラ御説明ヲ願ヒマス

○三宅秀君 唯今ノ御質問ニ御答シマスガ、此意見書案ハ聊カ簡單ニ過ギル次第デゴザイマスルケレドモ、元來此請願報告書モ至ッテ簡單ナモノデゴザイマシテ、餘リ十分ニ意味ハ盡シテ居リマセヌデゴザイマシタ、併シ教育ト云フ方ノ文字ノ因ッテ來リマスル所ハ歷史上ニ有名ナ處デアリマシテ、サウ云フ側カラ取ッテモ斯ウ云フ勝地ハ十分保存シテ置カネバナラス、又勝地デアルカラシテ觀光客ナドモ引寄セルデアラウカラ、ソレ等ノ點カラ言ウテモ必要デアラウ、斯ウ云フ意味デゴザイマス、産業ト云フ字ニ至リマシテハ請願報告書ニ付キマシラモ、本當ノ意味ハ分リマセヌデゴザイマスガ、チヨット請願書ノ中ニ認メテゴザイマスル所デハ金ノ鯨ノ附イテ居リマスル所ガ商標ニ極ク適シテ居ル、アレハ商標ニ用キテ居ルカラ、ソレデ産業ニ裨補スルト云フ意味ラシク請願書デ取レマシタ、ソレヨリ以上ハチヨット委員長ニモ申上ゲ兼チマス

○田中芳男君 唯今、委員長カラ御説明ガゴザイマシタケレドモ、ドウモ御城ガ教育産業ニ裨補スルト云フコトニ至ッテハ何分ニモ私等ニハ合點ガ行キマセス、唯今ノ御説明ダケデハマダ……併シ各位ニ於キマシテハ御分リニナリマシタカ知レマセスガ、本員ハ是ハ不賛成デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五十、請願委員長ノ報告通り採擇シテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 明日ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知イタシマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後二時二十九分散會